2020 年 7～9 月期(第Ⅲ期)景況調査を 9 月 18 日～9 月 25 日まで実施し、163 社から回答がありました。7 月 19 日に開催した支部政策委員会では、大貝氏の調査結果をもとに、景況を意見交換しました。

前回調査では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の影響が大きく、2008 年の世界同時不況時期と同程度の水準にまで落ち込んだが、今期はその反動から景況感が改善されている。しかし、次期に目を向けてみると、今期と同水準ないしはやや悪化の見通しとなっている。ウィズコロナを見据えて経済活動が動き始めたものの、欧州で「第二波」の拡大があるように、道内でも今冬にかけて感染拡大が再燃する懸念、それに伴う経済活動停滞への不安をぬぐい切れない。それらの要因が次期見通しの弱さにつながっていると考えられる。

全体としては、業界の状況 ＤＩは前期▲51.4→今期▲41.6、各社の業況を示す業況判断 ＤＩは▲38.5→▲26.5、各社の売上高 DI は▲35.9→▲30.9、収益状況は▲35.5→▲30.9 へと改善を示す指標がおおいものの、前回の大幅な落ち込みをカバーするに至ってはいない。

次期見通しは、業界の状況 DI が▲43.4Pt、業況判断 DI▲29.0Pt、売上高ＤＩ▲31.3Pt、収益状況 DI は▲31.3Pt と、同水準ないしはやや悪化の見通しとなりました。

札幌支部の会員構成は「5 人未満」「5～10 人未満」「10～20 人未満」「20～50 人未満」「50 人以上」のそれぞれが約 20%となっています。業界の状況を規模別に見ると、「5 人未満」が 33.4Pt と最も改善幅が大きく、次いで「10～20 人未満」の 15.2Pt となっていますが、次期見通しでは「10～20 人未満」が▲6.1Pt、「5～10 人未満」が▲3.6pt 悪化すると見ています。

業種別にみると、建設業の業界状況 DI は 1.7pt の改善にとどまったものの、製造業では 13.9pt、流通商業は 9.5pt、サービス業でも 10.3pt の大幅な改善となりました。次期見通しは、建設業が▲3.0pt、製造業は▲2.0pt、流通商業は▲5.7pt、サービス業が▲3.8pt の悪化見通しとなりました。

経営上の問題点のトップは「民間需要の停滞」となり、続いて「従業員の不足」と「人件費の増加」が続いています。

今回の自由記述欄では、「自社における新型コロナウイルスへの感染対策、感染者が出た場合の対応策」について尋ねました。建設業で特徴的だったのは「アポなしの営業や来客は断っている。感染者が出た場合、全員自宅待機と決めて通達している」。製造業からは「マニュアルを作成した」、「4 月から社員全員を自家用車での通勤に変更した」。流通商業では「マスクは社員家族にも支給。消毒用アルコールを車に常備した」「自社の新型コロナウイルス対策マニュアルの周知徹底」。サービス業からは、「新北海道スタイルの周知徹底」、「テレワーク。時差出勤」、「疑わしき社員への抗体検査と出社制限」等の取り組みが共有されました。

10 月 19 日に実施された景況調査分析会議では、「観光業界はコロナの影響を大きく受けたが、Go To キャンペーンや小中学校の修学旅行などがあり持ち直している」といった企業経営、業界の動向に関してのコメントのほか、「コロナ禍で会社のウェブサイトを見て依頼をしてくる人が増えた」というような、web の活用次第で可能性が広がるのではないか、といった意見も聞かれた。

未だ終息が見えないコロナ状況にあって、引き続き、厳しい経営状況が継続することが予想されます。この難局を乗り切るためにも全社一丸の体制づくりが必要不可欠です。

2020 年 10 月 23 日　北海道中小企業家同友会札幌支部政策委員会

北海道中小企業家同友会札幌支部

2020/10/19
大貝健二
ogai@hgu.jp

2020 年 7-9 月期（第Ⅲ期）景況調査の動向

1.回答企業数

・163 社（建設業：33（44）、製造業：28（35）、流通商業：35（31）、サービス業：65（74）、農業：2（0））
→（ ）内は前回調査回答数。内訳、規模別に関しては、参考資料を参照。前回調査より 21 者減。
※業種別動向において、農業は回答企業数が 5 者であるため除外している。しかし、全体把握には入れている

1-1. 景況調査・DI 値について

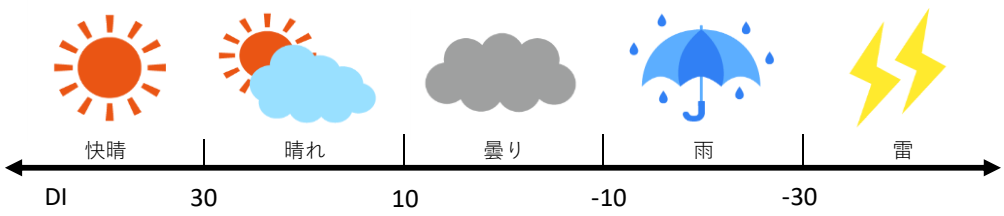
≪景況調査について≫

・景況調査は、回答者の意識・マインドを基に景気動向を分析する調査です。
・同友会が実施する景況調査は、経営者の意識を反映するため、景気動向が表れやすいと言われています。
・景況調査は、景気動向を判断する以外にも、以下の点で有用であると考えています。
①その場で、すぐに回答できるか→ 自社の経営状況を把握できているか
②調査結果から、経営環境の変化（景気が改善しているのか、悪化しているのか）をつかみ、経営に活かす
③独自調査をやることの意味：外部発信、調査の蓄積＝武器を持つ；行政等との中小企業施策への活用
・景況動向、および「次期見通し」を自社の経営指針等の見直し等に活用してください。

≪DI 値について≫

・DI 値は、「良い」と回答した割合（%）から「悪い」と回答した割合（%）を引いた数値です。
・「良い」と回答した企業が多ければ多いほど DI は高水準で推移するが、その逆もしかり。
・景況調査では、（1）DI 値の水準（プラスかマイナスか）、（2）前回調査からの変化幅を主に見ていきます。
・DI 値の変化幅について
①1 ポイント以内の場合：「ほぼ横ばい」と表現します。
②1～5 ポイントの場合：「やや」という言葉が、好転・悪化の前に付きます。
③10 ポイント以上の場合：「大幅な」という言葉が、好転・悪化の前に付きます。

＜おおよその天気図＞



2.今期調査結果の天気

1）各業種の前回調査の景況感（調査項目：「自社の業況（前年同期比）」をもとに作成）

全体	建設業	製造業	流通商業	サービス業

2）各業種の今期の景況感（調査項目：「自社の業況（前年同期比）」をもとに作成）

全体	建設業	製造業	流通商業	サービス業

3）各業種の次期見通し（調査項目：「自社の業況（次期見通し）」をもとに作成）

全体	建設業	製造業	流通商業	サービス業

3. 全体の動向

・前回調査の反動か、改善を示す指標が多い／しかし、前回の落ち込みをカバーするには至っていない

・販売価格、取引条件の悪化がきになるところ

・次期見通し：今期とほぼ横ばい、ないしはやや悪化見通し→見通しが▲30-40 台中心

・従業員の不足感が高まる一方で、資金繰りでは余裕感が大幅に高まる（資金調達をしたか？）

業界の状況：9.8Pt の改善（▲51.4→▲41.6）　次期見通し：1.8Pt のやや悪化見通し（▲41.6→▲43.4）

業況判断　：11.9Pt の大幅な改善（▲38.5→▲26.5）次期見通し：2.5Pt のやや悪化見通し（▲26.5→▲29.0）

売　上　高：5.0Pt の改善　（▲35.9→▲30.9）　次期見通し：ほぼ横ばい推移見通し（▲30.9→▲31.3）

収益状況　：9.0Pt の改善（▲35.5→▲30.9）　次期見通し：ほぼ横ばい推移見通し（▲30.9→▲31.3）

仕入価格　：2.3Pt の低下（14.8→12.6）　次期見通し：1.1Pt 上昇見通し（12.6→13.7）

販売価格　：4.3Pt の低下（0.0→▲4.3）　次期見通し：1.8Pt 低下見通し（▲4.3→▲6.2）

取引条件　：4.3Pt の悪化（▲4.4→▲8.6）　次期見通し：ほぼ横ばい推移見通し（▲8.6→▲8.0）

従業員の過不足：適正感が後退し、「やや不足」割合が高まる。DI では、8.3Pt の悪化（▲18.7→▲27.0）

資金繰りの状況：「余裕感」が大幅に高まる。DI では、15.4Pt の大幅な改善（5.5→20.9）

設備の過不足（製造業・流通商業）：「やや不足」割合が高まる。DI では、8.8Pt の悪化（▲12.5→▲21.3）

経営上の問題点：上位 3 項目「民間需要の停滞」、「従業員の不足」、「人件費の増加」

　これら以外に、「管理費等間接費の増加」、「熟練技術者の確保難」の割合が上昇

経営上の力点：「付加価値の増大」、「新規受注（顧客）の確保」、「人材確保」、「社員教育」

　「付加価値の増大」、「人材確保」、「社員教育」で回答割合の上昇

4. 規模別の動向

1）5 人未満

・今季の改善幅は他規模と比べて最も大きいが、この推移をどのように評価するか？

業界の状況：33.4Pt の大幅な改善（▲57.6→▲24.1）次期見通し：3.4Pt のやや改善見通し（▲24.1→▲20.7）
業況判断　：36.5Pt の大幅な改善（▲46.9→▲10.3）次期見通し：10.3Pt の大幅な悪化見通し（▲10.3→▲20.7）
売　上　高：24.8Pt の大幅な改善（▲45.5→▲20.7）次期見通し：横ばい推移見通し（▲20.7→▲20.7）
収益状況　：25.6Pt の大幅な改善（▲39.4→▲13.8）　次期見通し：横ばい推移見通し　（▲13.8→▲13.8）
仕入価格　：2.7Pt のやや上昇（18.8→21.4）　　次期見通し：3.6Pt のやや低下見通し（21.4→17.9）
販売価格　：6.7Pt の上昇（▲3.1→3.6）　　次期見通し：横ばい推移見通し（3.6→3.6）
取引条件　：ほぼ変化なし（▲6.3→▲6.9）　　次期見通し：3.4 Pt の改善見通し（▲6.9→▲3.4）
従業員の過不足：7.1Pt の改善（▲31.3→▲24.1）
資金繰りの状況：23.5Pt の大幅な改善（▲6.3→17.2）
設備の過不足（製造業・流通商業）：15.0Pt の大幅な悪化（▲10.0→▲25.0）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（44.0%）、「従業員の不足」（32.0%）
経営上の力点：「付加価値の増大」（62.1%）、「新規受注の確保」（48.3%）、「新規事業の展開」（37.9%）

2）5～10 人未満

・改善と悪化が入り混じった結果。次期も横ばいないしは悪化の見通し。

業界の状況：4.0Pt のやや悪化（▲57.1→▲61.1）　次期見通し：3.6Pt のやや悪化見通し（▲61.1→▲64.7）
業況判断　：6.3Pt の悪化（▲38.1→▲44.4）　次期見通し：11.1Pt の大幅な悪化見通し（▲44.4→▲55.6）
売　上　高：7.9Pt の改善（▲52.4→▲44.4）　次期見通し：5.6Pt の悪化見通し（▲44.4→▲50.0）
収益状況　：4.0Pt のやや改善（▲42.9→▲38.9）次期見通し：横ばい推移見通し　（▲38.9→▲38.9）
仕入価格　：8.4Pt の低下（14.3→5.9）　次期見通し：横ばい推移見通し（5.9→5.9）
販売価格　：8.7Pt の低下（14.3→5.6）　次期見通し：横ばい推移見通し（5.6→5.6）
取引条件　：ほぼ変化なし（▲4.8→▲5.6）　次期見通し：横ばい推移見通し（▲5.6→▲5.6）
従業員の過不足：10.3Pt の大幅な悪化（▲28.6→▲38.9）
資金繰りの状況：22.2Pt の大幅な改善（0.0→22.2）
設備の過不足（製造業・流通商業）：20.0Pt の大幅な悪化（0.00→▲20.0）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（55.6%）、「従業員の不足」（38.9%）
経営上の力点：「付加価値の増大」（66.7%）、「人材確保」（50.0%）、「新規事業の展開」（44.4）

3）10～20 人未満

・大幅な悪化指標が並ぶ。次期も横ばいないしは悪化見通しが並ぶ。

業界の状況：15.2Pt の大幅な改善（▲54.5→▲39.4）　次期見通し：6.1Pt の悪化見通し（▲39.4→▲45.5）
業況判断　：19.8Pt の大幅な改善（▲47.1→▲27.3）　次期見通し：横ばい推移見通し（▲27.3→▲27.3）
売　上　高：10.9Pt の大幅な改善（▲41.2→▲30.3）　次期見通し：6.18Pt の悪化見通し（▲30.3→▲36.4）
収益状況　：16.9Pt の大幅な改善（▲41.2→▲24.2）　次期見通し：9.1Pt の悪化見通し　（▲24.2→▲33.3）
仕入価格　：3.5Pt のやや上昇（14.7→18.2）　次期見通し：3.0Pt のやや上昇見通し（18.2→21.2）

販売価格　：6.1Pt の低下（0.0→▲6.1）　　次期見通し：6.1Pt の低下見通し（▲6.1→▲12.1）
取引条件　：15.3Pt の大幅な悪化（▲5.9→▲21.2）　次期見通し：3.0Pt のやや改善見通し（▲21.2→▲18.2）
従業員の過不足：15.2Pt の大幅な悪化（▲3.0→▲18.2）
資金繰りの状況：6.1Pt の改善（9.1→15.2）
設備の過不足（製造業・流通商業）：2.6Pt のやや悪化（▲30.8→▲33.3）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（51.5%）、「熟練技術者の確保難」（36.4%）、「人件費の増加」（27.3%）
経営上の力点：「付加価値の増大」（60.6%）、「新規受注の確保」（54.5%）

4）20～50 人未満

・(大幅な)改善が目立つが、それでも多くは水面下での推移、依然として厳しい状況。見通しも明るくない。

業界の状況：12.2Pt の大幅な改善（▲44.7→▲32.5）次期見通し：3.4Pt のやや悪化見通し（▲32.5→▲32.9）
業況判断　：15.8Pt の大幅な改善（▲33.3→▲17.5）次期見通し：7.5Pt の悪化見通し（▲17.5→▲25.0）
売　上　高：8.3Pt の改善（▲33.3→▲25.0）　次期見通し：5.0Pt の悪化見通し（▲25.0→▲30.0）
収益状況　：17.5Pt の大幅な改善（▲37.5→▲20.0）次期見通し：横ばい推移見通し　（▲20.0→▲20.0）
仕入価格　：3.3Pt のやや低下（8.3→5.0）　次期見通し：2.5Pt のやや上昇見通し（5.0→7.5）
販売価格　：7.9Pt の低下（▲2.1→▲10.0）　次期見通し：5.0Pt の低下見通し（▲10.0→▲15.0）
取引条件　：1.7Pt のやや改善（▲4.2→▲2.5）　次期見通し：7.5 Pt の悪化見通し（▲2.5→▲10.0）
従業員の過不足：12.1Pt の大幅な悪化（▲10.4→▲22.5）
資金繰りの状況：17.5Pt の大幅な改善（12.5→30.0）
設備の過不足（製造業・流通商業）：1.9Pt のやや悪化（▲5.3→▲7.1）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（61.5%）、「取引先の減少」（23.1%）、「従業員の不足」（23.1%）
経営上の力点：「付加価値の増大」（65.0%）、「新規受注の確保」（47.5%）、「社員教育」（40.0%）

5）50 人以上

・10～20 規模と同様、悪化指標が並ぶ。次期見通しは多くの指標で改善だが、いずれも水面下推移。

業界の状況：7.2Pt の悪化（▲48.9→▲56.1）次期見通し：横ばい推移見通し（▲56.1→▲56.1）
業況判断　：6.2Pt の悪化（▲31.9→▲38.1）　次期見通し：9.5Pt の改善見通し（▲38.1→▲28.6）
売　上　高：17.3Pt の大幅な悪化（▲20.8→▲38.1）次期見通し：10.2Pt の大幅な改善見通し（▲38.1→▲27.9）
収益状況　：14.7Pt の大幅な悪化（▲23.4→▲38.1）　次期見通し：5.5Pt の改善見通し　（▲38.1→▲32.6）
仕入価格　：7.0Pt の低下（19.1→12.2）　次期見通し：1.8Pt のやや上昇見通し（12.2→14.0）
販売価格　：5.1Pt の低下（▲2.1→▲7.1）　次期見通し：2.5Pt のやや上昇見通し（▲7.1→▲4.7）
取引条件　：5.1Pt の悪化（▲2.1→▲7.1）　次期見通し：4.8Pt のやや改善見通し（▲7.1→▲2.3）
従業員の過不足：9.9Pt の悪化（▲25.0→▲34.9）
資金繰りの状況：12.4Pt の大幅な改善（6.3→18.6）
設備の過不足（製造業・流通商業）：8.2Pt の悪化（▲11.8→▲20.0）
経営上の問題点：「人件費の増加」（44.2%）、「従業員の不足」（39.5%）、「民間需要の停滞」（32.6%）
経営上の課題：「社員教育」（55.8%）、「人材確保」（51.2%）、「付加価値の増大」（46.5%）

5. 業種別

1）建設業

・改善と悪化が入り混じる結果、次期も同様。見通し水準がマイナス 20-40 台。

・これまで人材確保が第一の経営上の力点だったが、付加価値の増大がそれを上回る。

・販売価格と取引条件の（大幅な）悪化がみられることに注意が必要。

業界の状況：1.7Pt のやや改善（▲38.1→▲36.4）　次期見通し：3.0Pt のやや悪化見通し（▲36.4→▲39.4）
業況判断　：6.1Pt の悪化（▲27.3→▲33.3）　次期見通し：横ばい推移見通し（▲33.3→▲33.3）
売　上　高：9.1Pt の悪化（▲36.4→▲45.5）　次期見通し：3.0Pt のやや改善見通し（▲45.5→▲42.4）
収益状況　：8.3Pt の改善（▲38.6→▲30.3）　次期見通し：6.1Pt の改善見通し　（▲30.3→▲24.2）
仕入価格　：5.7Pt の低下（18.2→12.5）　次期見通し：横ばい推移見通し（12.5→12.5）
販売価格　：5.3Pt の低下（2.3→▲3.0）　次期見通し：6.1Pt の低下見通し（▲3.0→▲9.1）
取引条件　：15.2Pt の大幅な悪化（0.0→▲15.2）　次期見通し：3.0 Pt のやや改善見通し（▲15.2→▲12.1）
従業員の過不足：1.5Pt のやや改善（▲59.1→▲57.6）
資金繰りの状況：17.4Pt の大幅な改善（6.8→24.2）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」、「従業員の不足」、「熟練技術者の確保難」（いずれも 48.5%）
経営上の力点：「付加価値の増大」（60.6%）「人材確保」（51.5%）、「社員教育」（42.4%）
※今期調査で、付加価値の増大と人材確保の割合が入れ替わる

2）製造業

・大幅な改善が並ぶ。前回調査の著しい悪化からの反動か？しかし次期見通しは再び悪化見通し

・販売価格と取引条件の（大幅な）悪化がみられることに注意が必要。

業界の状況：13.9Pt の大幅な改善（▲65.7→▲51.9）　次期見通し：2.0Pt のやや悪化見通し（▲51.9→▲53.8）
業況判断　：21.0Pt の大幅な改善（▲54.3→▲33.3）　次期見通し：3.7Pt のやや悪化見通し（▲33.3→▲37.0）
売　上　高：19.3Pt の大幅な改善（▲60.0→▲40.7）　次期見通し：2.1Pt のやや悪化見通し（▲40.7→▲42.9）
収益状況　：6.3Pt の改善（▲47.1→▲40.7）　次期見通し：5.7Pt の悪化見通し（▲40.7→▲46.4）
仕入価格　：4.2Pt のやや上昇（14.3→18.5）　次期見通し：6.5 上昇見通し（18.5→25.0）
販売価格　：22.2Pt の大幅な低下（0.0→▲22.2）　次期見通し：2.8Pt のやや低下見通し（▲22.2→▲25.0）
取引条件　：7.4Pt の悪化（0.0→▲7.4）　次期見通し：ほぼ横ばい推移見通し（▲7.4→▲7.1）
従業員の過不足：27.9Pt の大幅な悪化（17.1→▲10.7）
資金繰りの状況：12.1Pt の大幅な改善（20.0→32.1）
設備の過不足　：10.8Pt の大幅な悪化（▲11.4→▲22.2）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（42.9%）、「人件費の増加」（35.7%）
経営上の課題：「付加価値の増大」（67.9%）、「新規受注（顧客）の確保」（50.0%）が突出

3）流通商業

・（大幅な）改善指標が多くみられるが、次期見通しは明るくない。DI でマイナス 20-40 台での推移

業界の状況：9.5Pt の改善（▲58.1→▲48.6）　次期見通し：5.7Pt の改善見通し（▲48.6→▲42.9）
業況判断　：22.7Pt の大幅な改善（▲48.4→▲25.7）　次期見通し：5.7Pt の悪化見通し（▲25.7→▲31.4）

売　上　高：15.9Pt の大幅な改善（▲38.7→▲22.9）　次期見通し：5.7Pt の悪化見通し（▲22.9→▲28.6）
収益状況　：15.9Pt の大幅な改善（▲38.7→▲22.9）次期見通し：横ばい推移見通し（▲22.9→▲22.9）
仕入価格　：7.9Pt の低下（19.4→11.4）　次期見通し：5.7Pt の低下見通し（11.4→5.7）
販売価格　：6.8Pt の低下（9.7→2.9）　次期見通し：5.7Pt の低下見通し（2.9→▲2.9）
取引条件　：5.3Pt の悪化（▲3.2→▲8.6）　次期見通し：横ばい推移見通し（▲8.6→▲8.6）
従業員の過不足：1.8Pt のやや改善（▲16.1→▲14.3）
資金繰りの状況：5.0Pt の改善（6.5→11.4）
設備の過不足　：6.8Pt の悪化（▲13.8→▲20.6）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（64.7%）、「取引先の減少」（32.4%）、「管理費等間接経費の増加」（29.4%）
経営上の課題：「付加価値の増大」（65.7%）、「新規受注（顧客）の確保」（45.7%）が突出（前回同様）

4）サービス業

・どちらかといえば、改善指標が並ぶ。次期見通しは「やや改善」に示されるように、力は弱い。

業界の状況：10.3Pt の大幅な改善（▲49.3→▲39.1）　次期見通し：3.8Pt のやや悪化見通し（▲39.1→▲42.9）
業況判断　：8.7Pt の改善（▲33.3→▲24.6）　次期見通し：1.5Pt のやや改善見通し（▲24.6→▲23.1）
売　上　高：3.2Pt のやや悪化（▲23.0→▲26.2）　次期見通し：1.5Pt のやや改善見通し（▲26.2→▲24.6）
収益状況　：2.4Pt のやや改善（▲27.0→▲24.6）　次期見通し：横ばい推移見通し（▲24.6→▲24.6）
仕入価格　：1.6Pt のやや上昇（11.1→12.7）　次期見通し：1.4Pt のやや上昇見通し（12.7→14.1）
販売価格　：2.4Pt の上昇（▲5.5→▲3.1）　次期見通し：4.7Pt のやや上昇見通し（▲3.1→1.6）
取引条件　：1.9Pt のやや改善（▲9.6→▲7.7）　次期見通し：1.5Pt のやや改善見通し（▲7.7→▲6.2）
従業員の過不足：13.7Pt の大幅な悪化（▲12.5→▲26.2）
資金繰りの状況：21.2Pt の大幅な改善（▲2.8→18.5）
経営上の問題点：「民間需要の停滞」（41.9%）、「従業員の不足」（38.7%）、「人件費の増加」（27.4%）
経営上の課題：「付加価値の増大」（49.2%）、「新規受注（顧客）の確保」（46.2%）、「人材確保」（44.6%）

6. 特別調査　新型コロナウイルスへの対応

→添付資料参照。

7. 自社における新型コロナウイルスへの感染予防策、感染者が出た場合の対応策

＜建設業＞

・テレワークの導入。
・不明
・アポなしの営業や来客はお断りしています。感染者が出た場合、全員自宅待機と決めていて通達しています。感染予防策は、インフルエンザ対応にプラスして衛生用品の社員２年分の確保とテレワークの準備並びにWeb 会議システムの導入。感染者が出た場合の対応マニュアルを作成しました。
・普段からの三密対策、ＷＥＢ会議の実施、特別休暇での休業
・事務所入室時のアルコール消毒、手洗い、マスクの着用、事務所内の定期的な換気。
・特に無し

・ﾃﾚﾜｰｸの導入。ﾏｽｸ・ｱﾙｺｰﾙ除菌。
・特になし
・道外出張規制、事務所内換気の徹底、サーモグラフィカメラ設置等／事務所の一時閉鎖、行動履歴による訪問先への通知、保健所の指示を仰ぐ
・検温、手指アルコール消毒、マスク等の徹底（会社・現場・打合わせ）
・マスク、アルコール消毒、フェイスガード
・橋梁、耐震補強工事、補修工事等発注遅れが見られそれに伴い工期不足気味

＜製造業＞
・マニュアル作成済
・予約制と客数制限、時間短縮、手指消毒、シールドの設置、
・製造を中止、消毒を行い従業員の検査を行う
・可能な限りの感染予防策を取っています
・社員全員自家用車通勤（4 月から）
・事業拡大で商標登録の費用増加があった

＜流通商業＞
・毎朝の社内検温、アルコール消毒、換気、マスク着用等
・マスクは社員家族にも支給　手消毒用アルコールを車に常備
・本人・同居者が咳・熱などが出た場合、休んでもらう。／他人の飛散を浴びるような飲食店などに行かないようにお願い。／スタッフ及びその同居者に感染者が出た場合は、会社経費でスタッフとその同居者全員が PCR 検査を受けることとし、即リモートワークを開始する。"
・マスクの着用、手指の消毒、店舗の休業・消毒
・消毒換気
・常に社員の健康状態に注意を払い、健康管理を徹底する。
・マスク着用、手洗いうがい、接客用パネル設置、機器の定期消毒等
・マスク着用など感染防止に尽力中
・マスク、次亜塩酸消毒液持参、車両事務所毎日消毒、地方移動等後 2 時間自宅待機、PCR 検査／朝夕検温等、会議では ZOOM・Teams で行う様出来るだけ接触無いようにしている
・自社マニュアルの（新型コロナウイルス）対応についての周知徹底

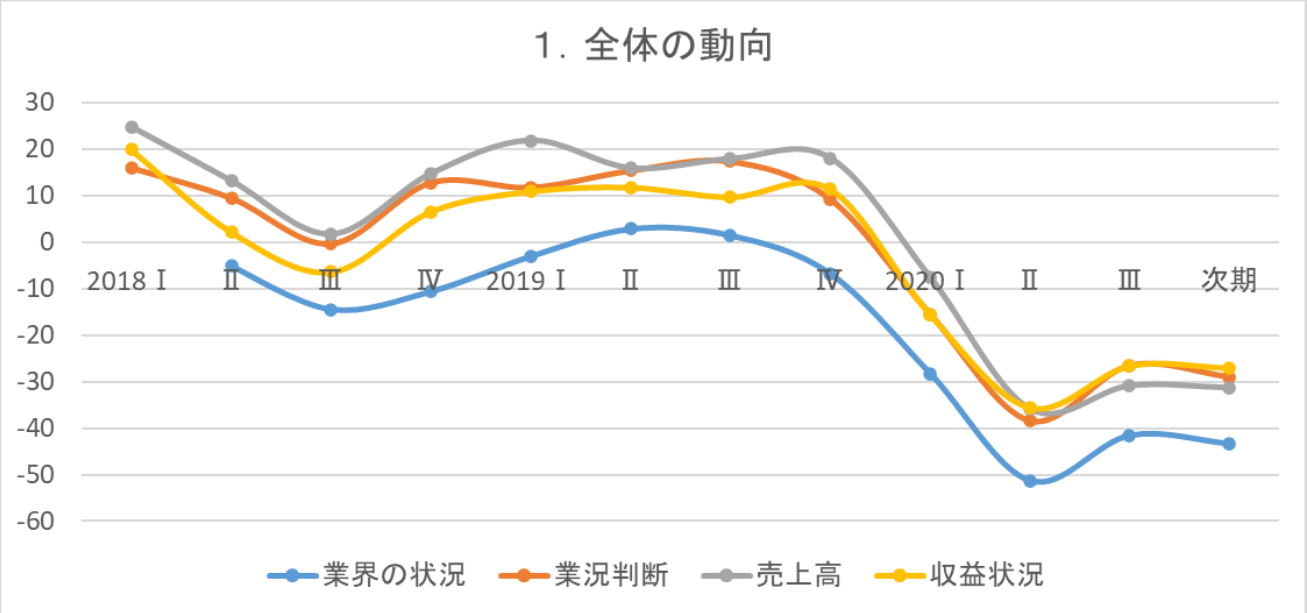
＜サービス業＞
・北海道スタイルの周知徹底、出た場合の対応策：新感染症の疑いがあっても受診できる行きつけ病院の確保、その場合の休業に対する作業下請け先の確保
・マスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンス、不要不急の外出を控える
・手指衛生の徹底、マスク着用、換気
・いちばん最初に手掛けたのは、with コロナの指針としての環境宣言です。次に感染者が出た場合の事業再開にむけたマニュアルの作成をしました。感染予防策は各種取っているものの、三密を避けられない業種でもあ

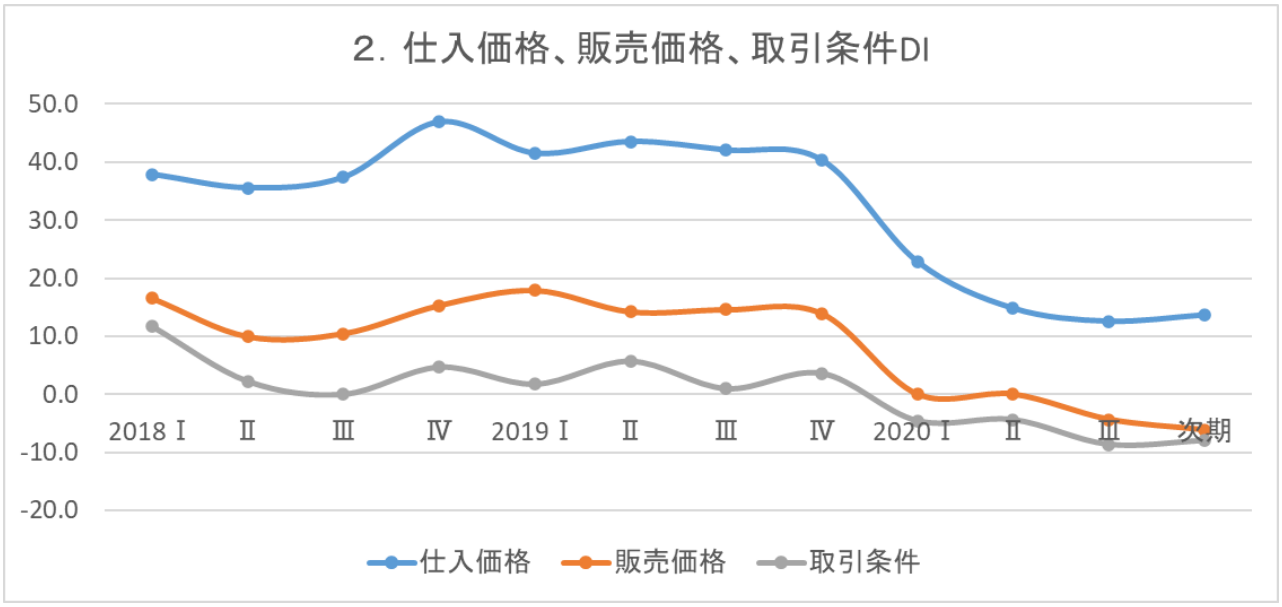
り、緊張の高い毎日を過ごしております。従業員に関しては、時短勤務、休業補償なども活かしつつ、体力の温存をしてもらっています。従業員が元気なこともあり、徐々に新規ユーザー獲得ができつつあるのが昨今です。この期間の最大の副産物は、時短にともない業務の効率化が自然に図られるようになり、実質 130～140%位の密度で現在はやれていると思われます。大変な時期ですし必要に迫られてという点はありますが、大幅に業務の効率化が図られたことは弊社にとっては大きな財産になりました。

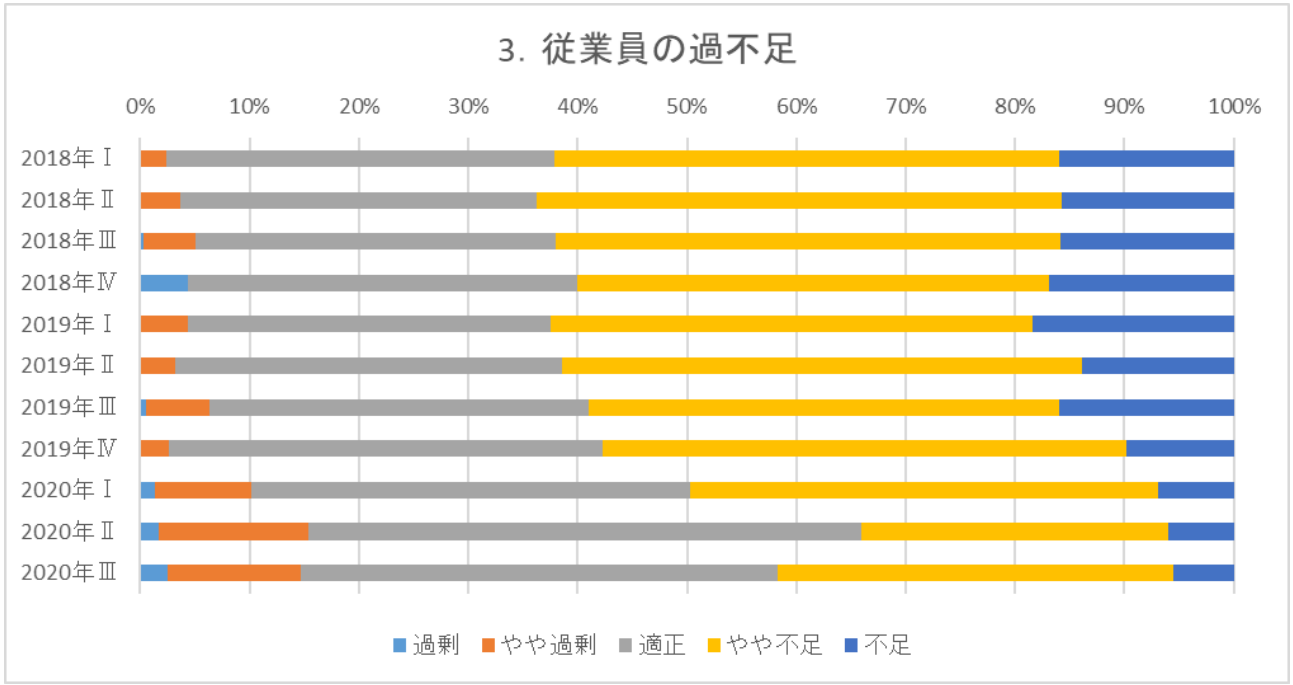
・テレワーク推奨、疑わしき社員の抗体検査準備、疑わしき（感染者）社員の出社制限
・予防策は新北海道スタイルをカスタマイズし毎日実施している。感染者が出た場合は出勤を停止し病院に行くよう定期的に啓蒙している。
・ほぼ北海道の指針に沿って対応しています。
・漢方アロマ燻蒸を実施、万全な清潔な空間を提供、従業員の健康サポート
・新北海道スタイル安心宣言、テレワーク、時差出勤
・一般的なマスク・手洗い、密にならない程度
・予防策：マスク着用、入室時・車両の消毒、多人数行事の中止、Web 利用／対応策：消毒マニュアル策定済み、当マニュアルにて対応する予定"
・業界のガイドラインに従い、対処する。
・法人全体の感染対策会議（月 2 回定例開催）にて感染予防と発生時の準備・訓練
・「3 つの密」の回避・手洗い・咳エチケットの徹底をし、万が一感染の可能性が出た場合は、自宅待機としコロナかどうかの確認作業をしてもらう対応となります。
・対応策は、業務そのものを中断することになる。予防策はマスク、手洗いなどの実施である。
・新北海道スタイルに準拠
・感染者の隔離
・マスク着用、テレワーク
・厚労省や札幌市等からの感染対策
・マニュアル作成済み
・厚労省等から示されている基本対策及び専門的視点からの対応(医療行為のため、従前から感染予防は重視していますが、さらに細部にわたる対策）を実施しています。
・玄関に消毒液設置、各机、接客ブースにビニールカーテン設置
・札幌市・北海道の指示に従います。
・開業以来はじめてコロナ対策助成金を導入予定
・感染予防策　来客者→検温、アルコール手指消毒、全身次亜塩消毒、入館カード作成、マスク。職員→毎日の検温、就業時間内で 1 日 2 回検温、マスク、手指消毒、不要な外食はさける、多い人達での飲食は禁止しています。
・新北海道スタイルの実行
・テレワーク対応　システム整備済
・出入者時の検温、手指消毒、消毒材入ネックストラップ、帰社時のデスク消毒、適時の除菌剤社内撒布

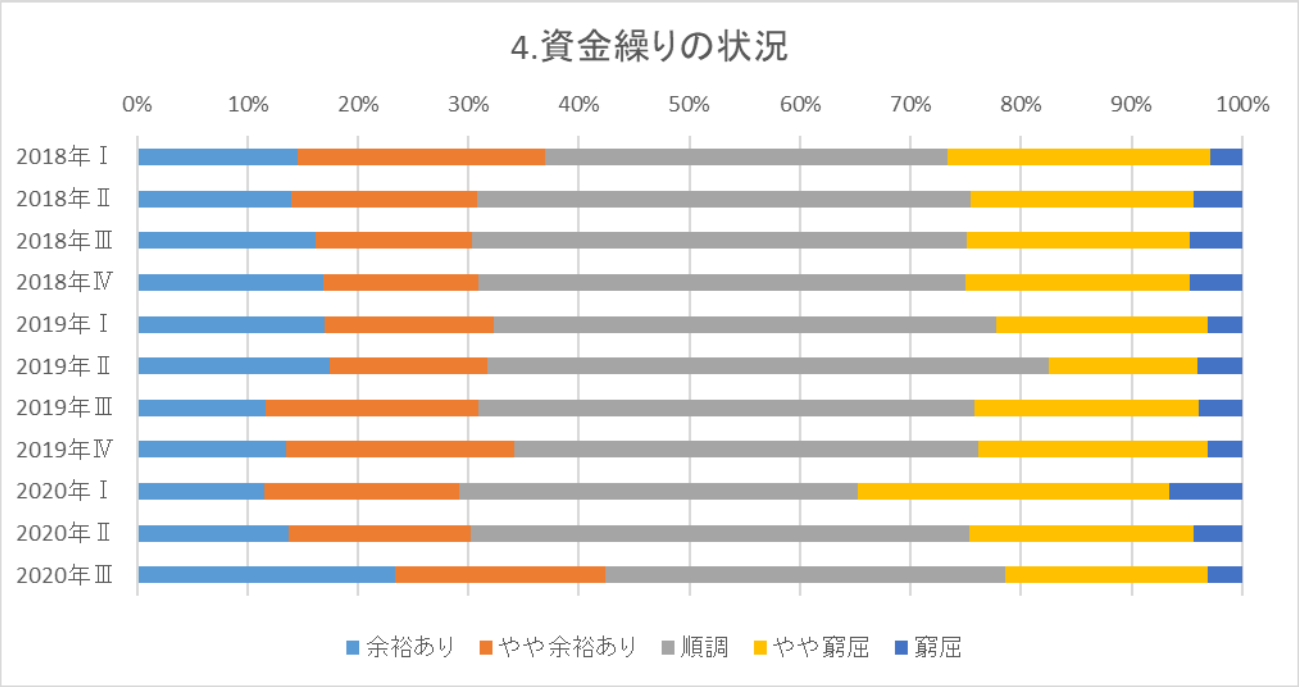
回答企業内訳

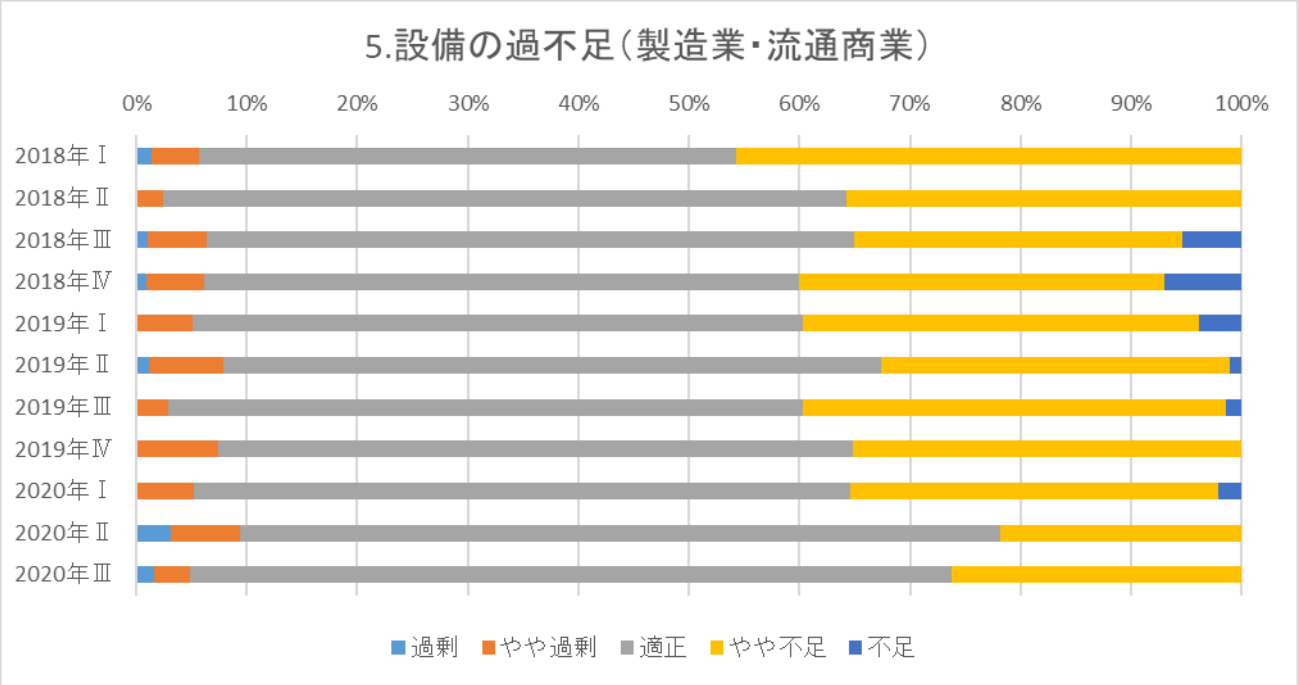
	2018 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	2019 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	2020 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
全体	206	273	297	320	229	246	207	194	307	184	163
建設業	40	60	71	66	53	59	50	45	69	44	33
製造業	33	34	41	48	32	41	32	26	48	35	28
流通・商業	37	50	53	67	46	48	38	31	54	31	35
サービス	92	106	129	132	95	93	84	87	124	74	65
農業	4	2	3	7	3	5	2	4	5	0	2
業種不明	0	21	0	0	0	0	1	1	7	0	0
全体								194	307	184	163
5人未満								46	60	33	29
5～9人								26	49	21	18
10～20人未満								36	56	34	33
20～50人未満								47	76	48	40
50人以上								39	62	48	43
不明								0	4	0	0
全体	206	273	297	320	229	246	207	194	307	184	163
中央東	14	18	17	18	15	19	13	11	19	12	12
中央西	30	32	35	37	29	35	27	31	39	27	23
中央南	7	6	15	20	13	7	6	6	7	6	8
中央北	18	6	15	13	14	14	15	15	16	13	9
東	31	27	50	52	41	37	30	27	48	31	22
西・手稲	14	19	28	30	19	21	19	16	26	16	13
南	3	5	6	8	6	8	7	6	6	4	5
北	20	18	39	33	25	24	24	20	32	17	18
白石・厚別	28	36	35	47	23	32	27	22	55	23	19
豊平・清田	17	24	23	25	19	17	14	13	21	16	16
千歳・恵庭・北広島・長沼	14	11	20	15	10	11	11	10	14	11	10
江別	10	16	14	22	15	21	12	17	22	8	8
所属地区会不明	0	55	0	0	0	0	2	0	2	0	0



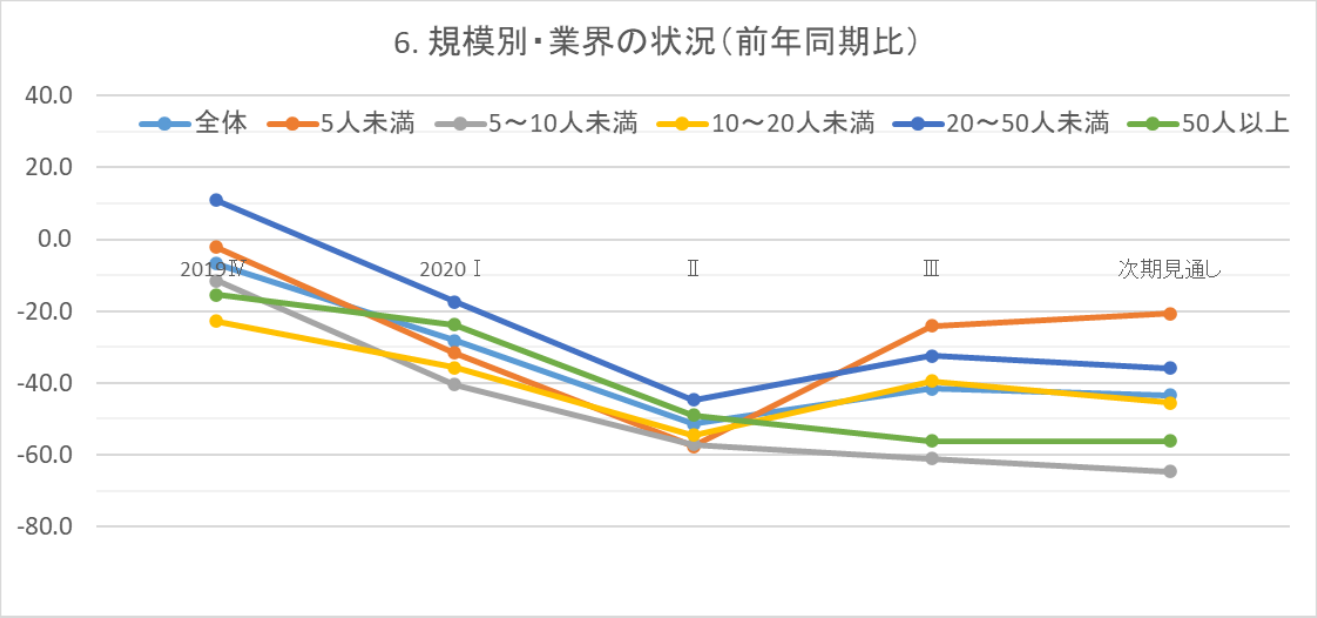

2. 仕入価格、販売価格、取引条件DI
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
-10.0
-20.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期
仕入価格
販売価格
取引条件

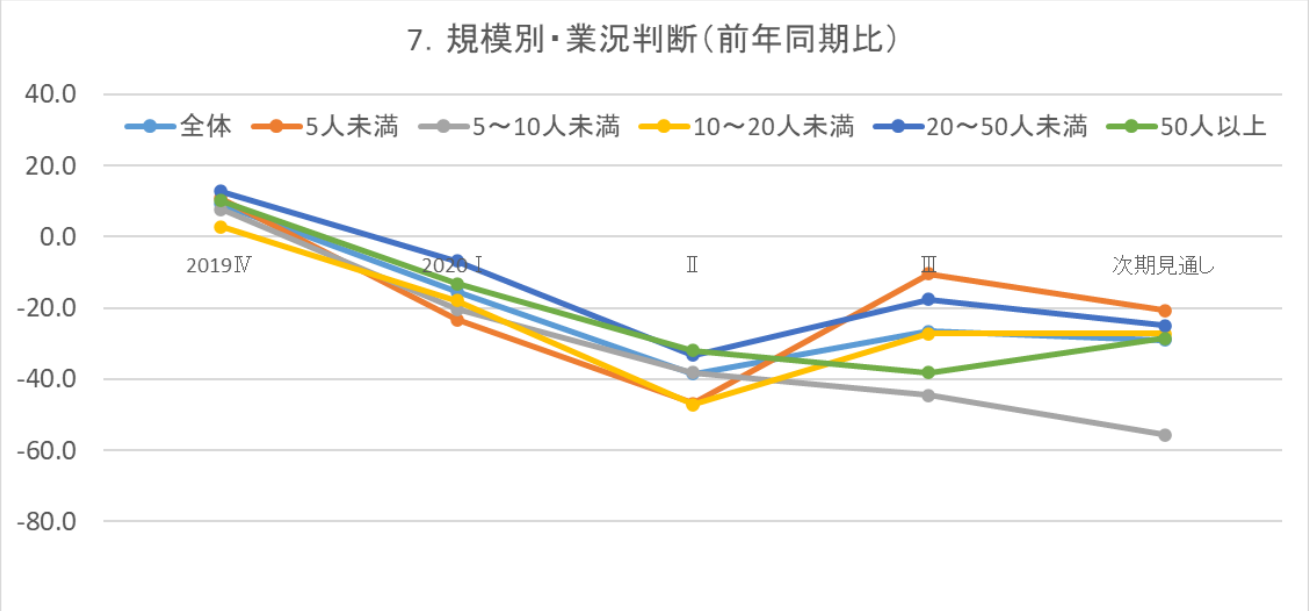

3. 従業員の過不足
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2018年Ⅰ
2018年Ⅱ
2018年Ⅲ
2018年Ⅳ
2019年Ⅰ
2019年Ⅱ
2019年Ⅲ
2019年Ⅳ
2020年Ⅰ
2020年Ⅱ
2020年Ⅲ
過剰
やや過剰
適正
やや不足
不足

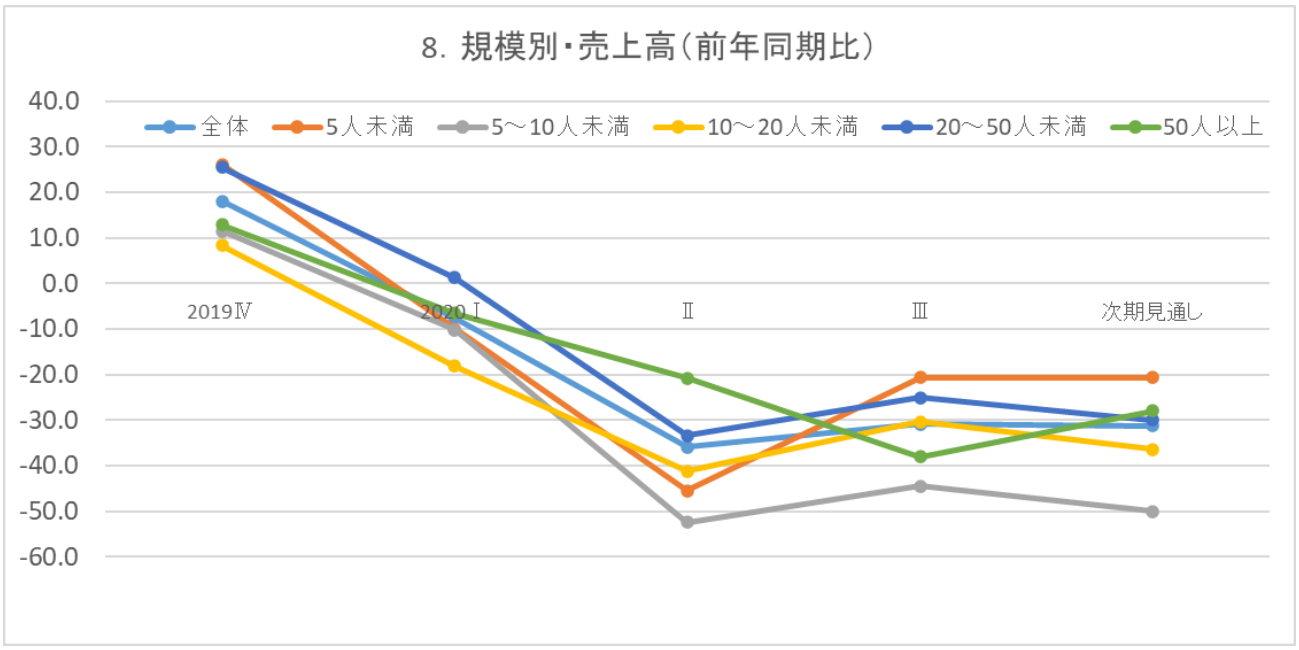

4.資金繰りの状況
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2018年Ⅰ
2018年Ⅱ
2018年Ⅲ
2018年Ⅳ
2019年Ⅰ
2019年Ⅱ
2019年Ⅲ
2019年Ⅳ
2020年Ⅰ
2020年Ⅱ
2020年Ⅲ
余裕あり
やや余裕あり
順調
やや窮屈
窮屈

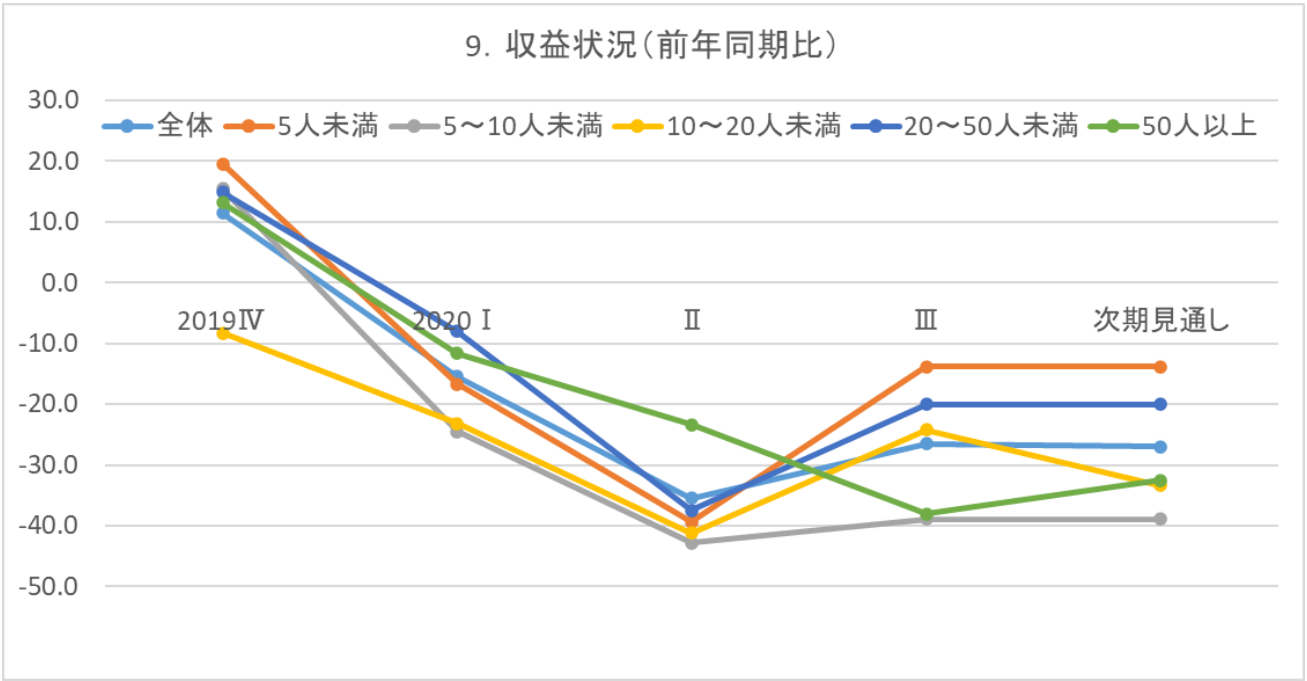

5.設備の過不足（製造業・流通商業）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2018年Ⅰ
2018年Ⅱ
2018年Ⅲ
2018年Ⅳ
2019年Ⅰ
2019年Ⅱ
2019年Ⅲ
2019年Ⅳ
2020年Ⅰ
2020年Ⅱ
2020年Ⅲ
過剰
やや過剰
適正
やや不足
不足

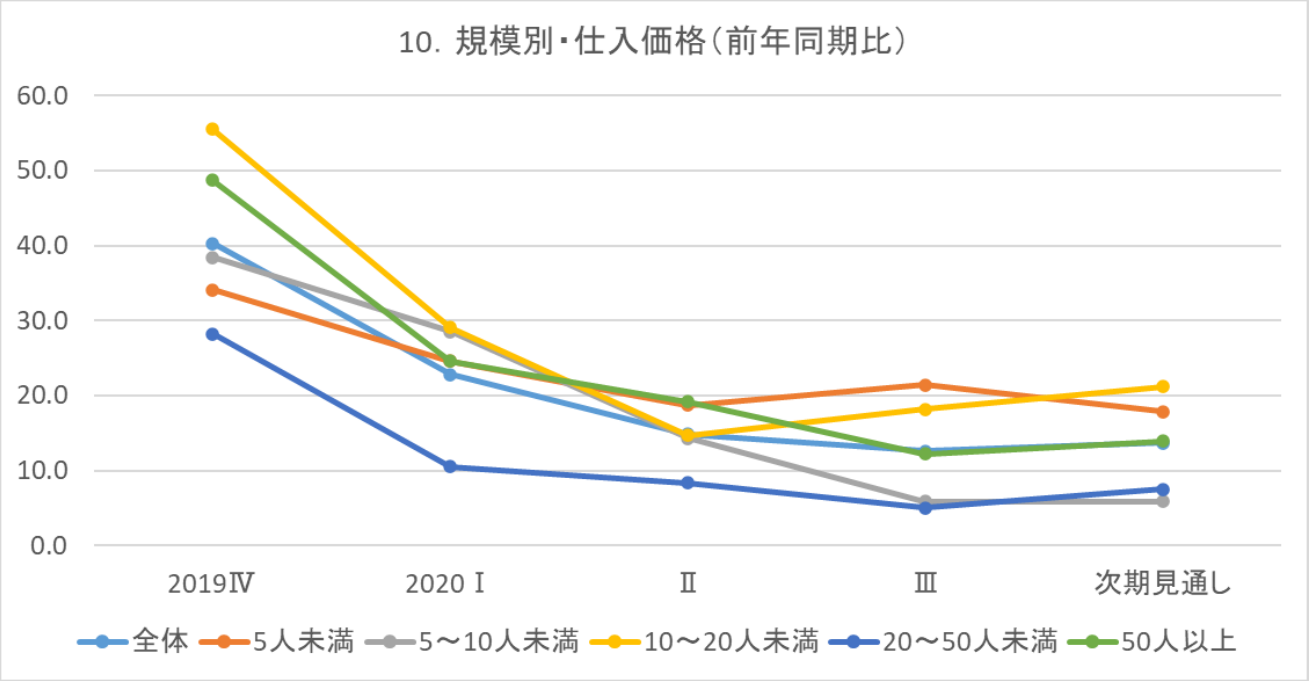
【規模別】

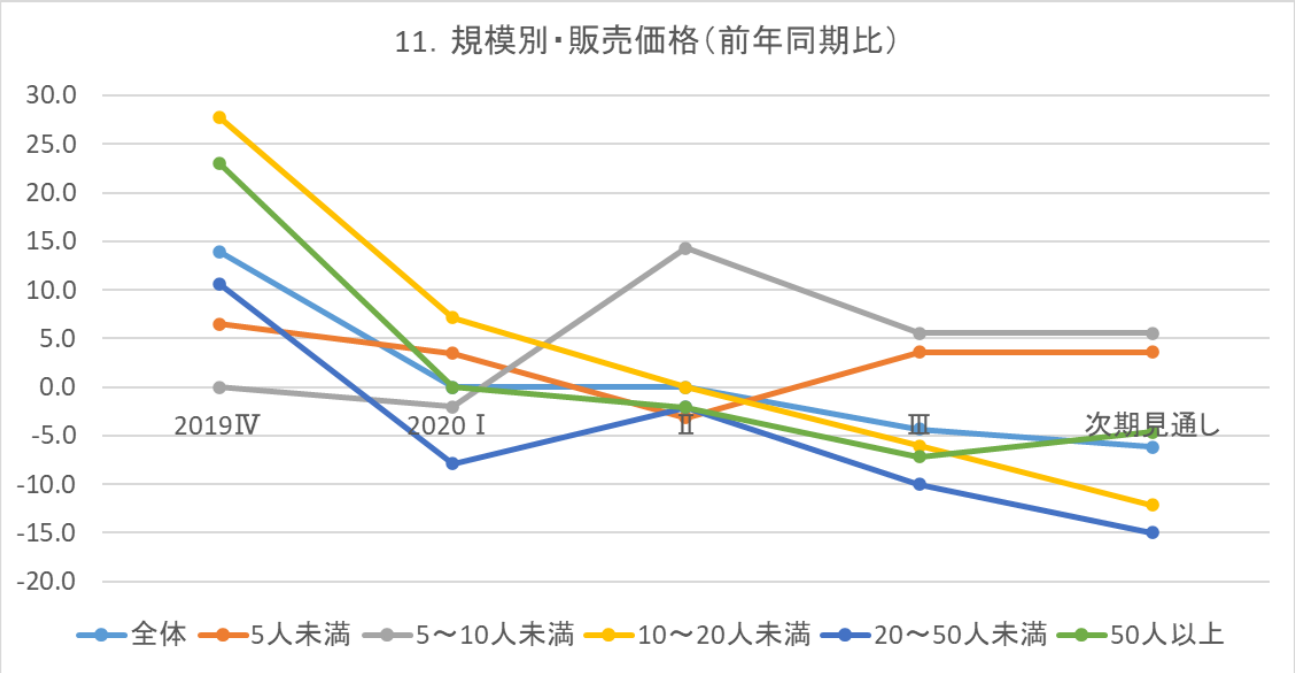

6. 規模別・業界の状況（前年同期比）
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し

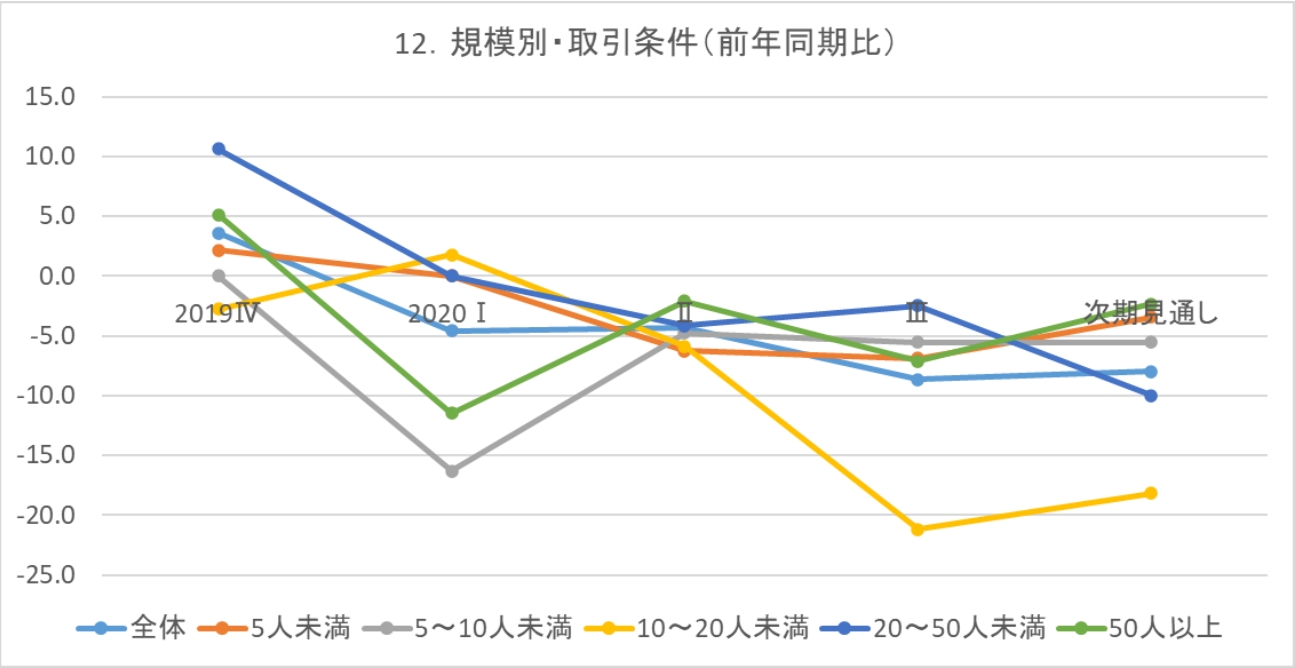

7. 規模別・業況判断（前年同期比）
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し

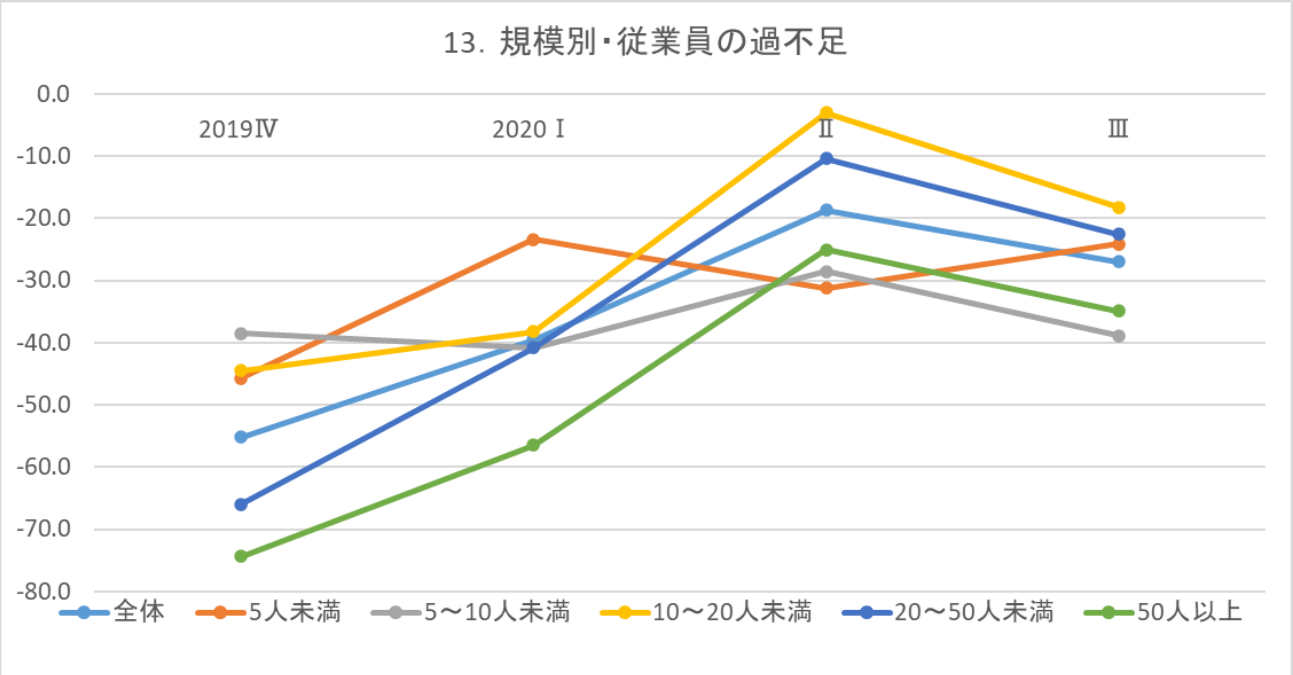

8. 規模別・売上高（前年同期比）
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
-40.0
-50.0
-60.0
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し

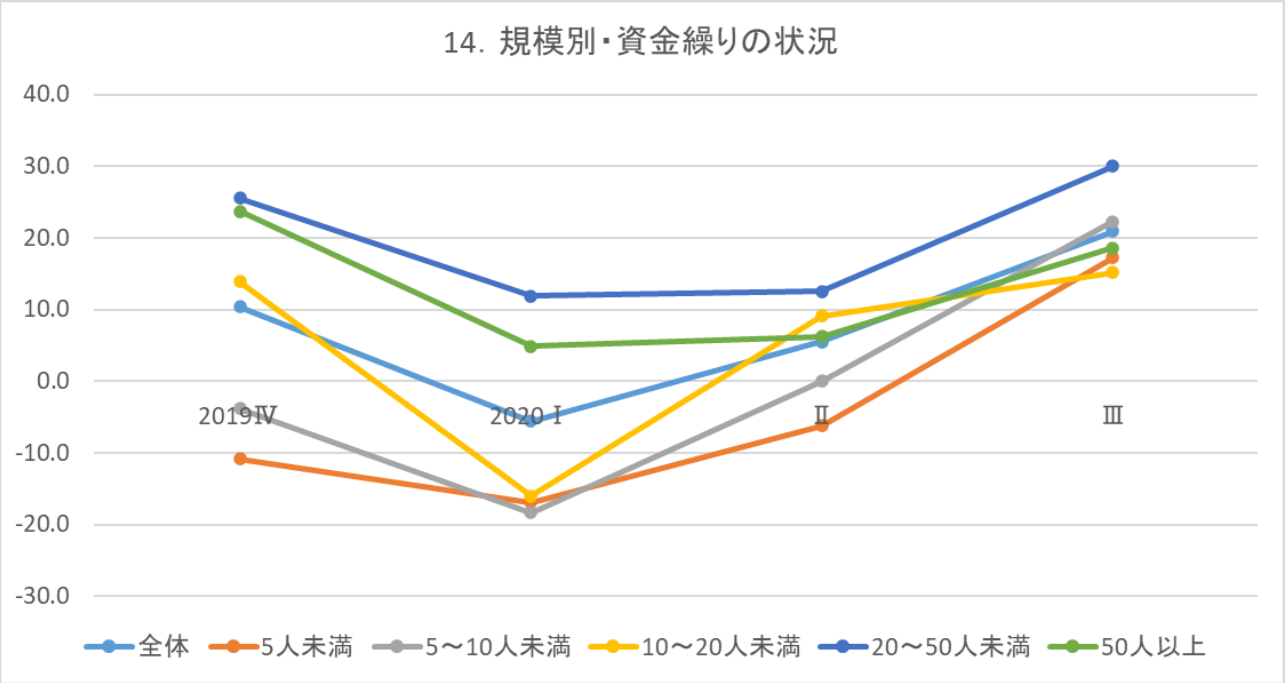

9. 収益状況（前年同期比）
30.0
20.0
10.0
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
-40.0
-50.0
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し

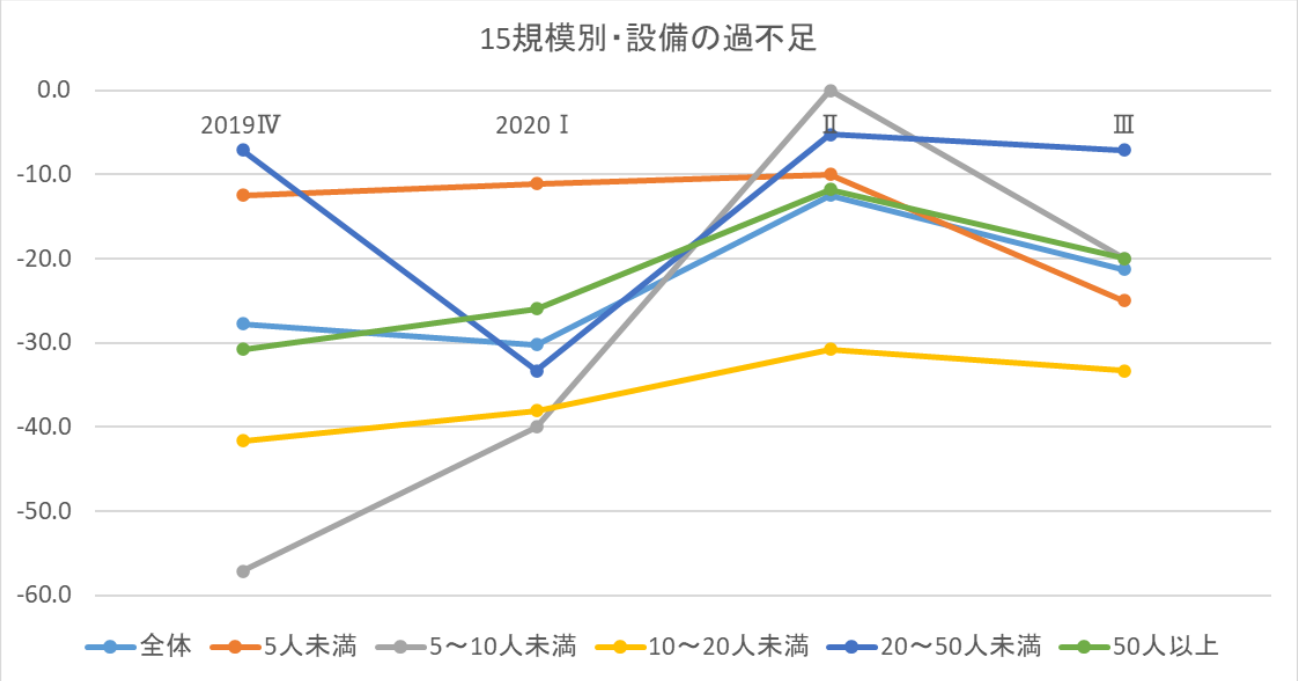

10. 規模別・仕入価格（前年同期比）
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
2019Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上


11. 規模別・販売価格（前年同期比）
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
-5.0
-10.0
-15.0
-20.0
2019Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上

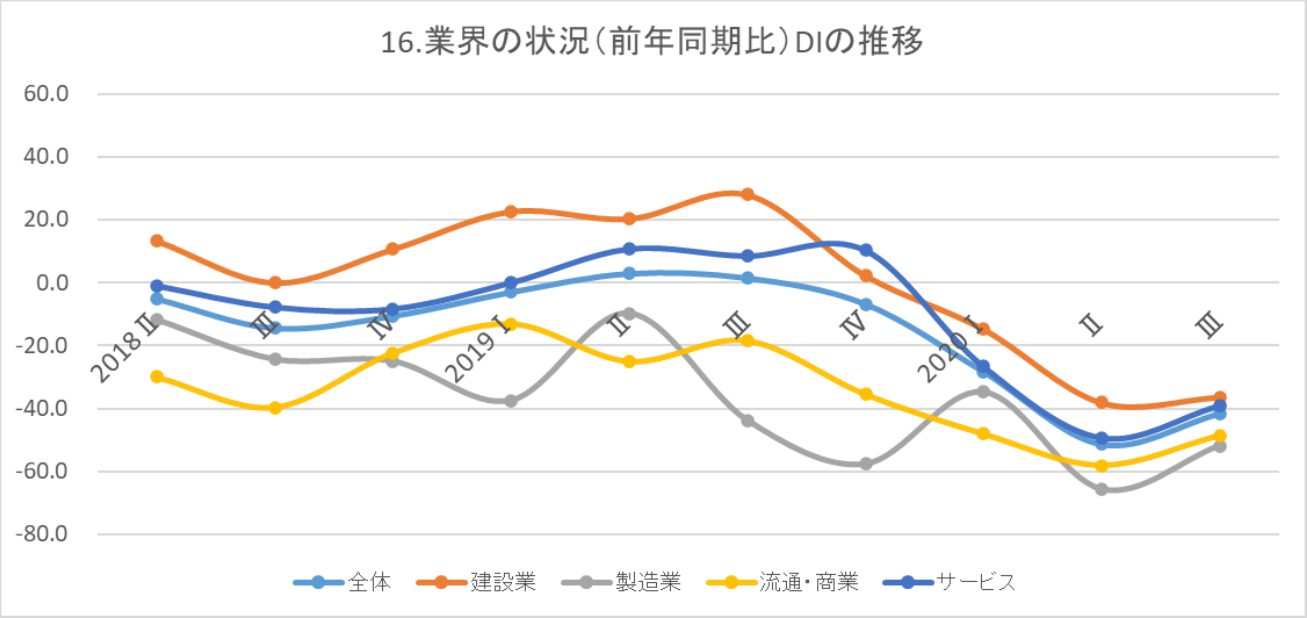

12. 規模別・取引条件（前年同期比）
15.0
10.0
5.0
0.0
-5.0
-10.0
-15.0
-20.0
-25.0
2019Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上

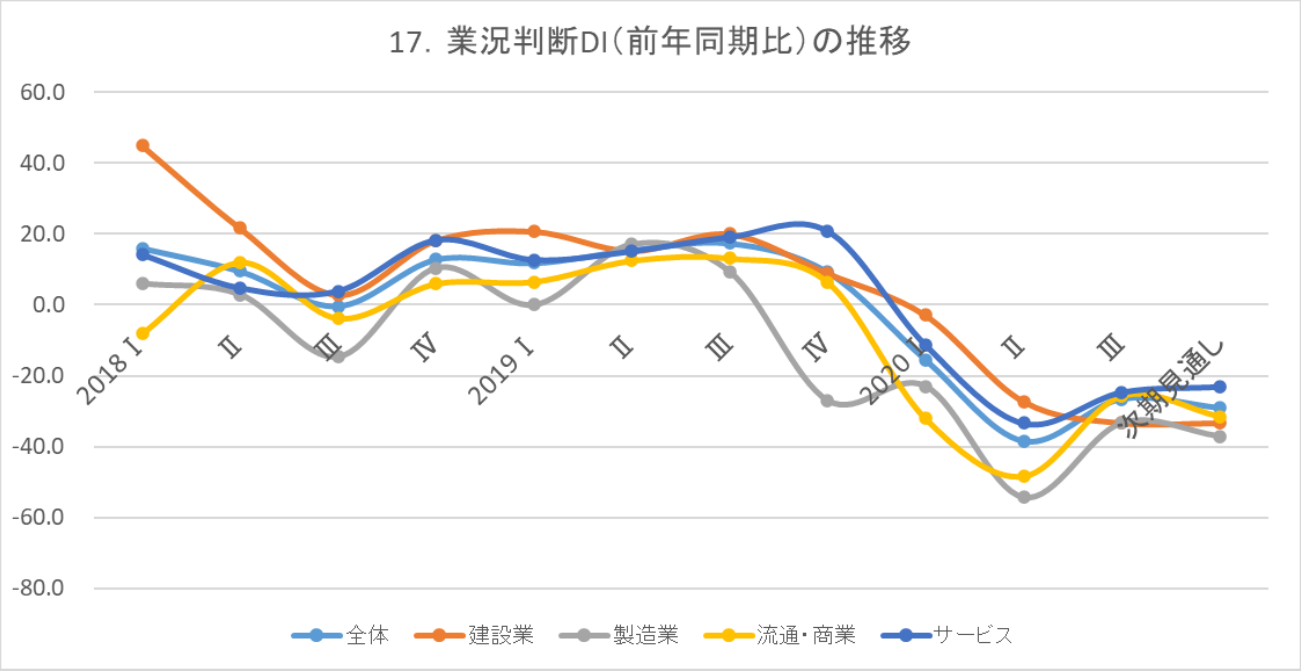

13. 規模別・従業員の過不足
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
-40.0
-50.0
-60.0
-70.0
-80.0
2019Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上

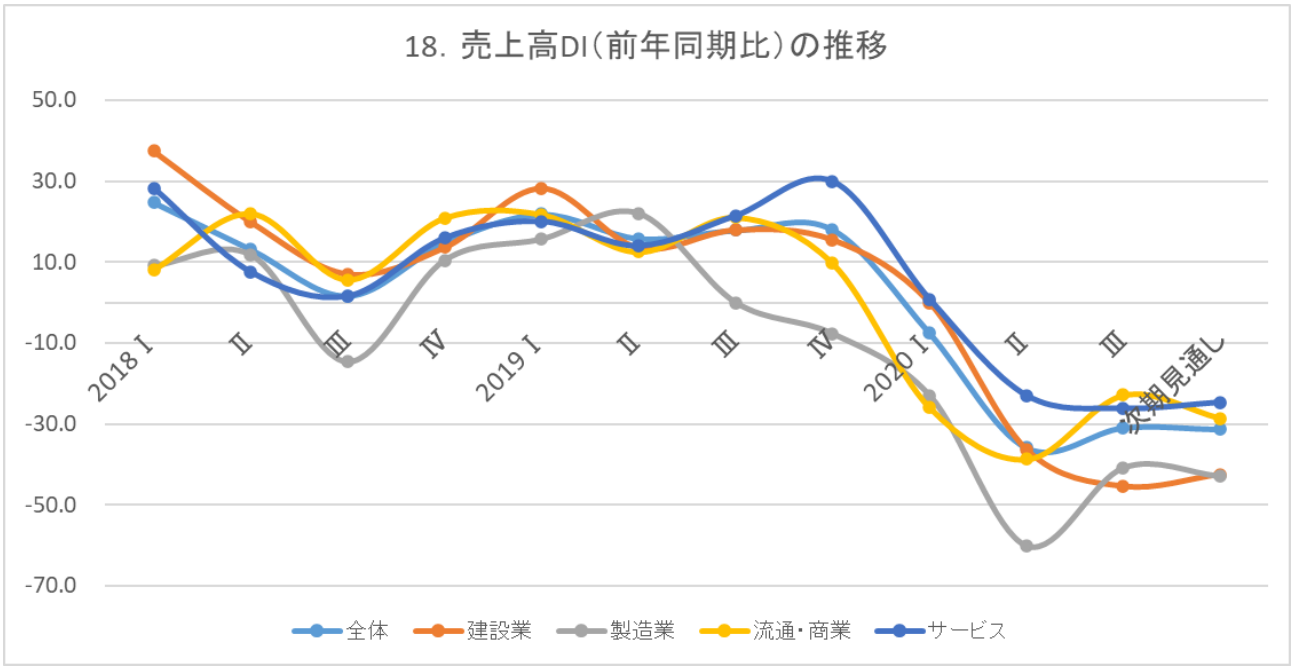

14. 規模別・資金繰りの状況
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上

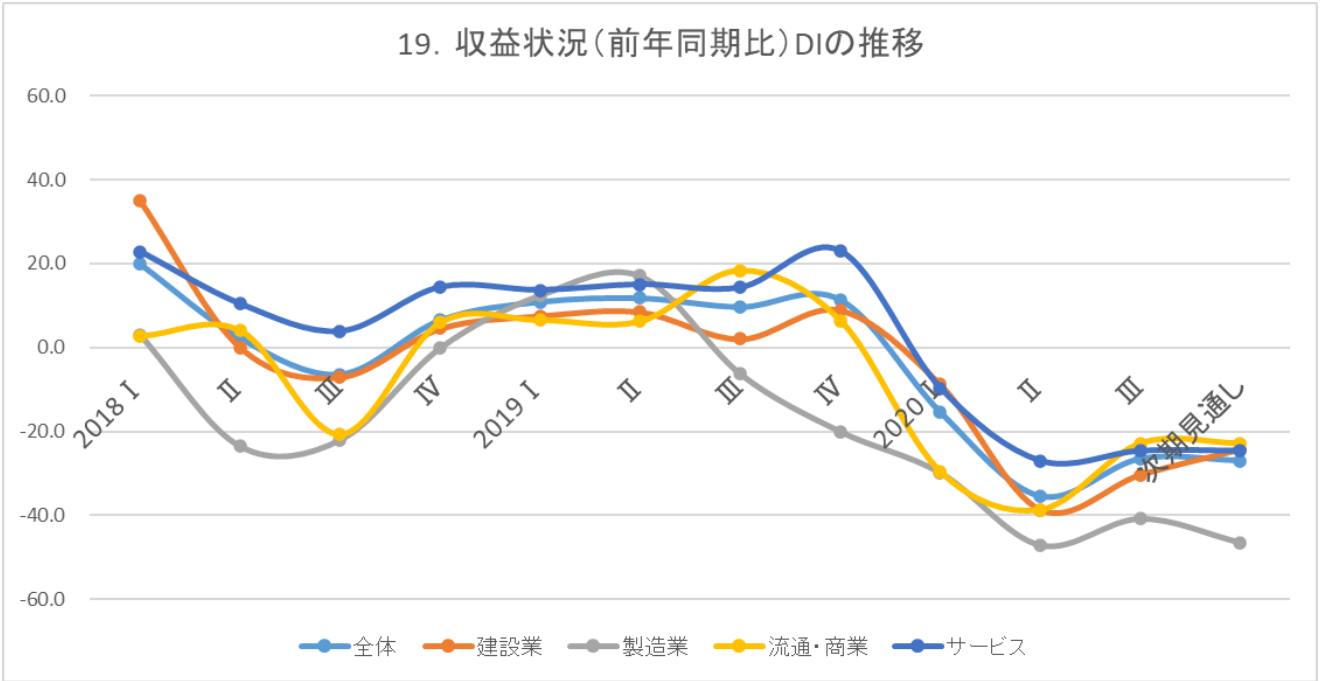

15規模別・設備の過不足
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
-40.0
-50.0
-60.0
2019Ⅳ
2020Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
全体
5人未満
5～10人未満
10～20人未満
20～50人未満
50人以上

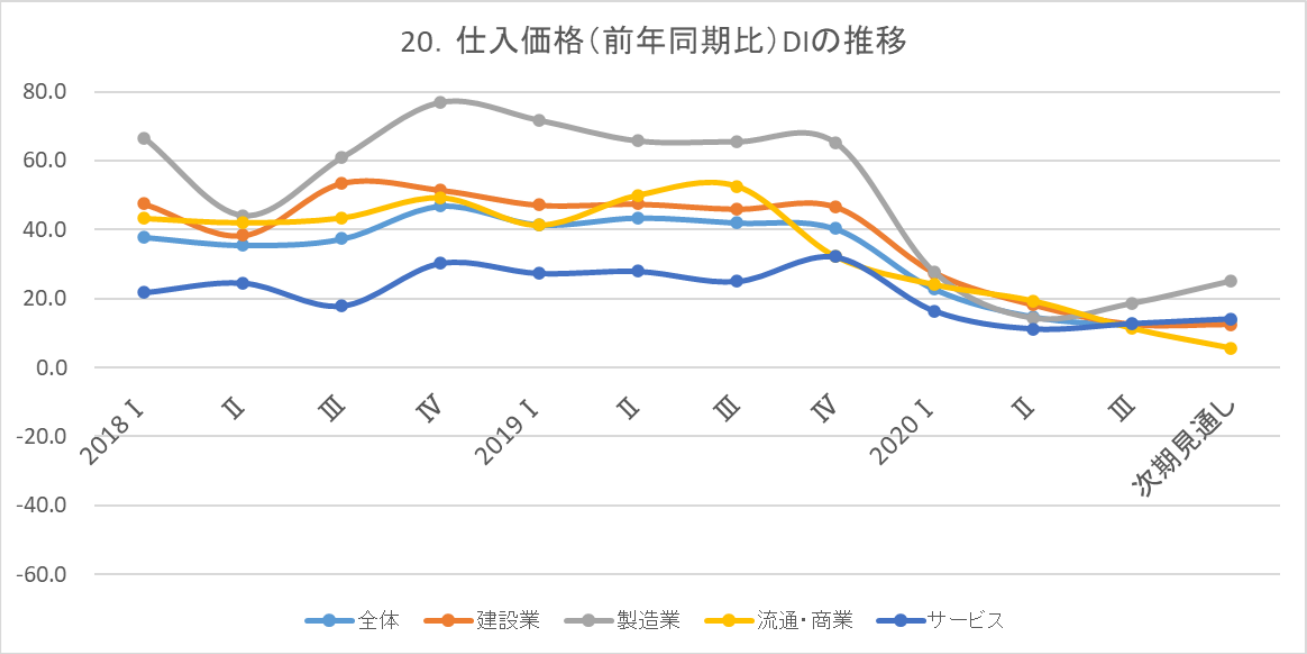
【業種別】

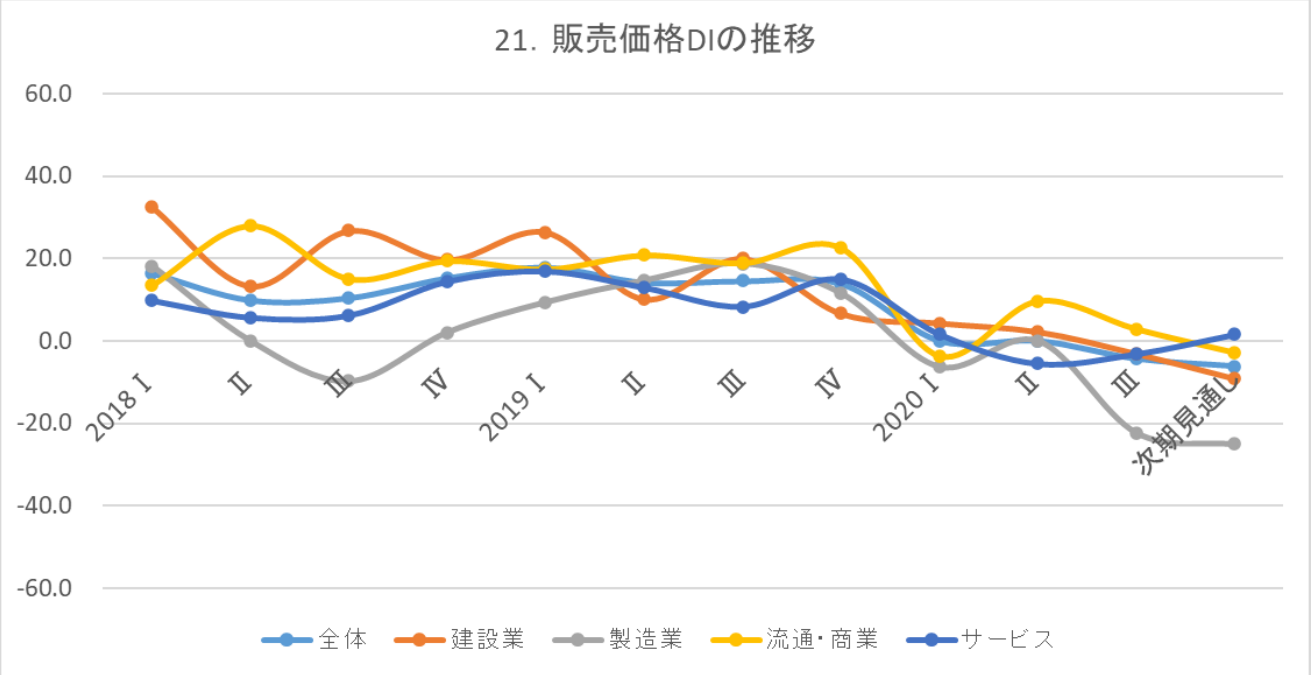

16.業界の状況（前年同期比）DIの推移
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
2018 Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス

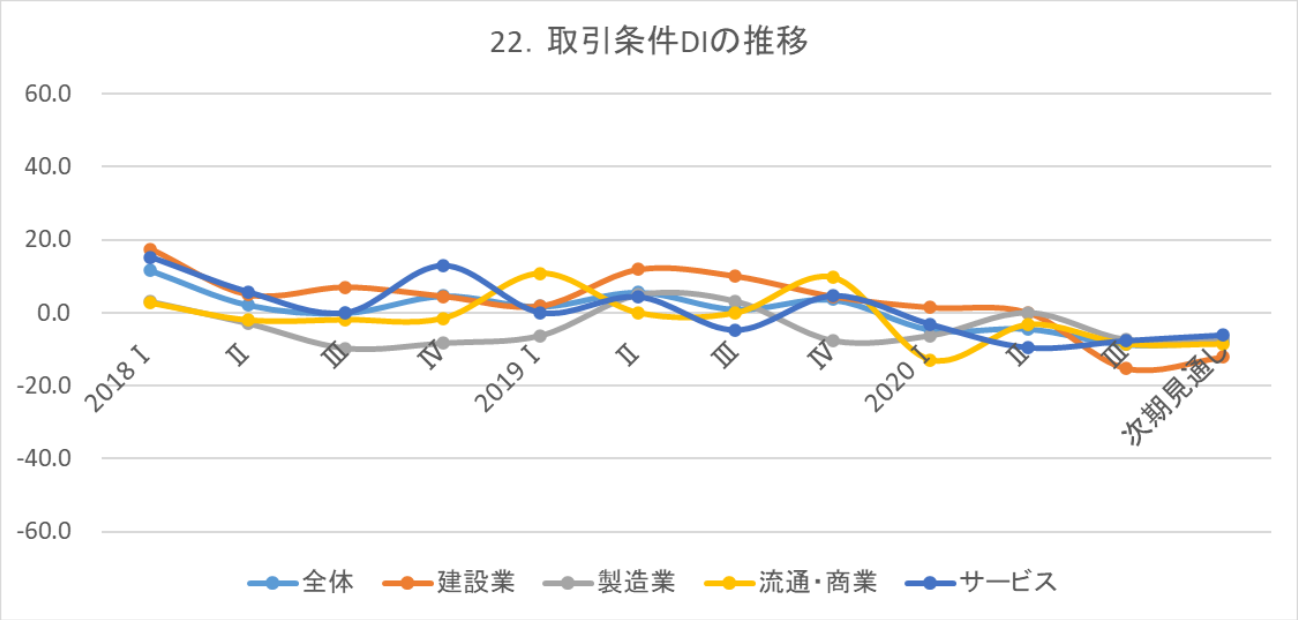

17. 業況判断DI（前年同期比）の推移
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
先行き見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス

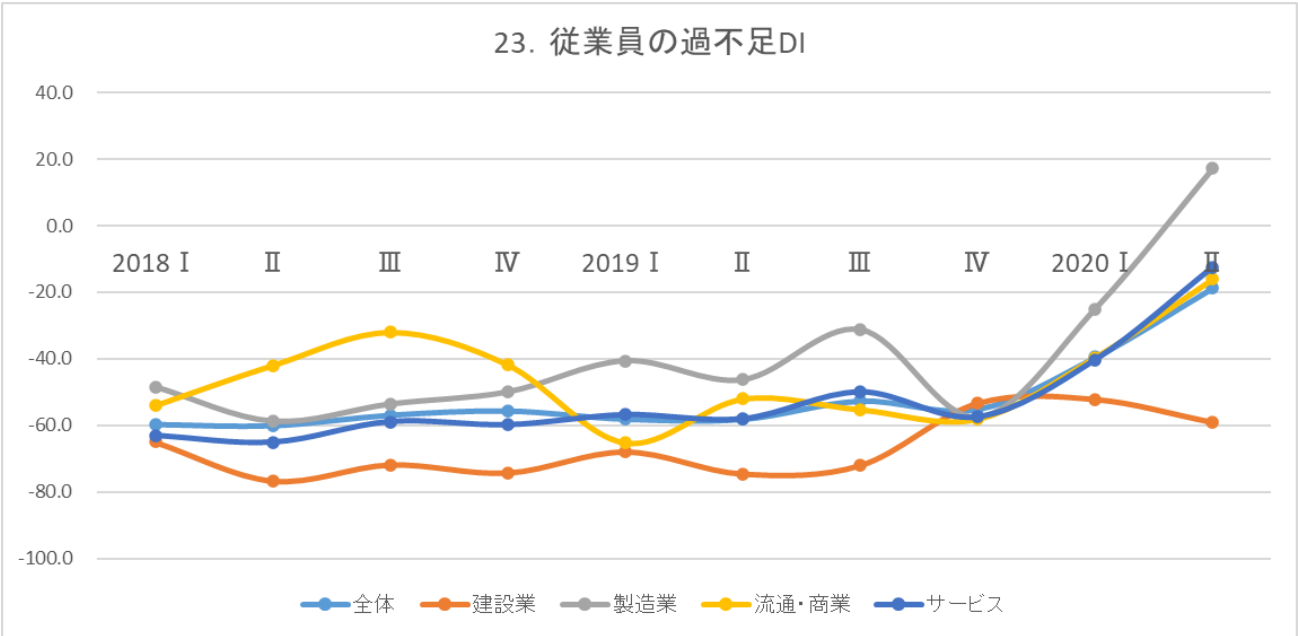

18. 売上高DI（前年同期比）の推移
50.0
30.0
10.0
-10.0
-30.0
-50.0
-70.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
先期見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス

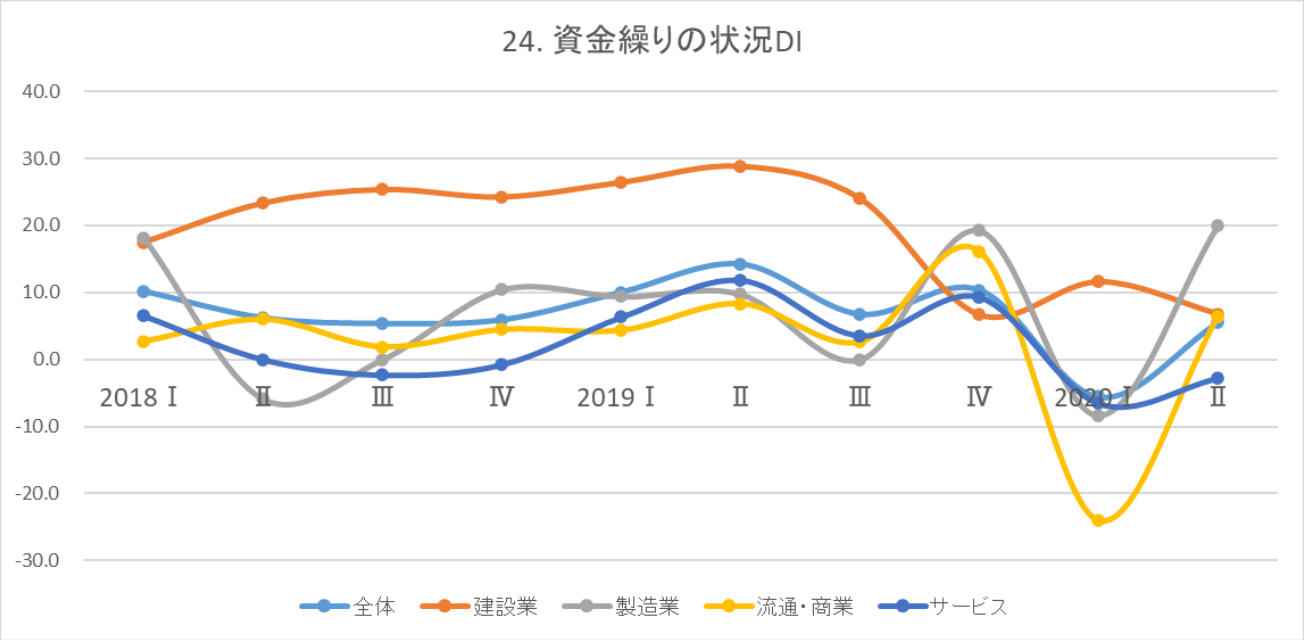

19. 収益状況（前年同期比）DIの推移
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
先期見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス

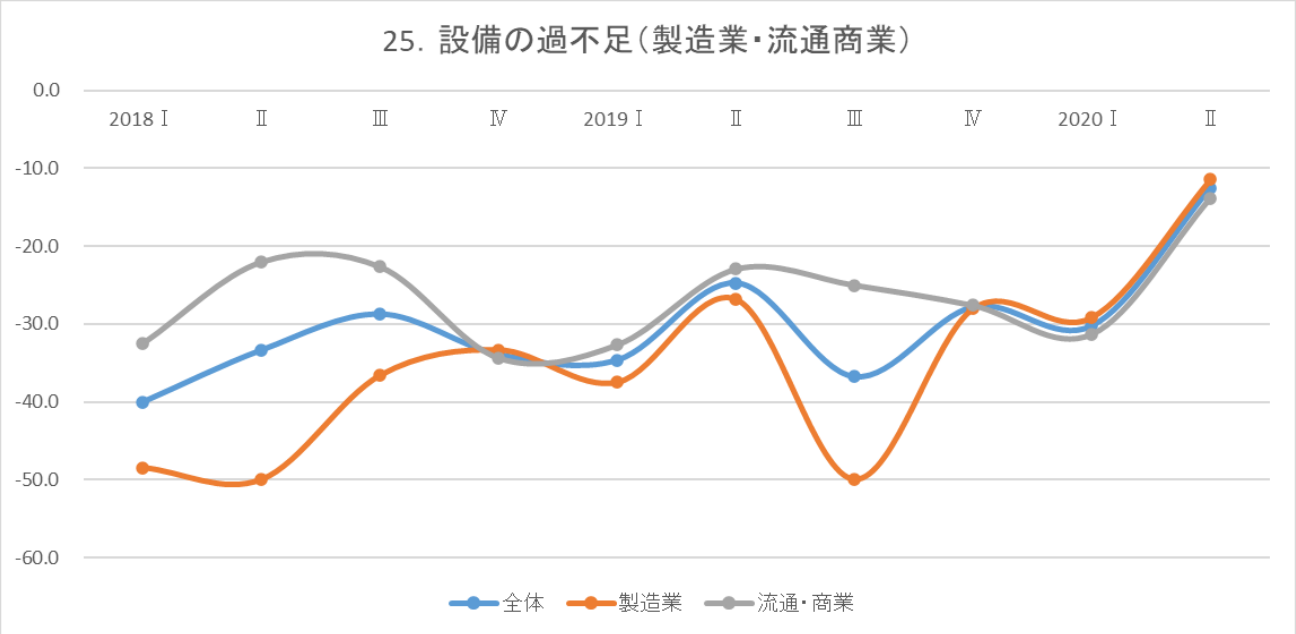

20. 仕入価格（前年同期比）DIの推移
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス

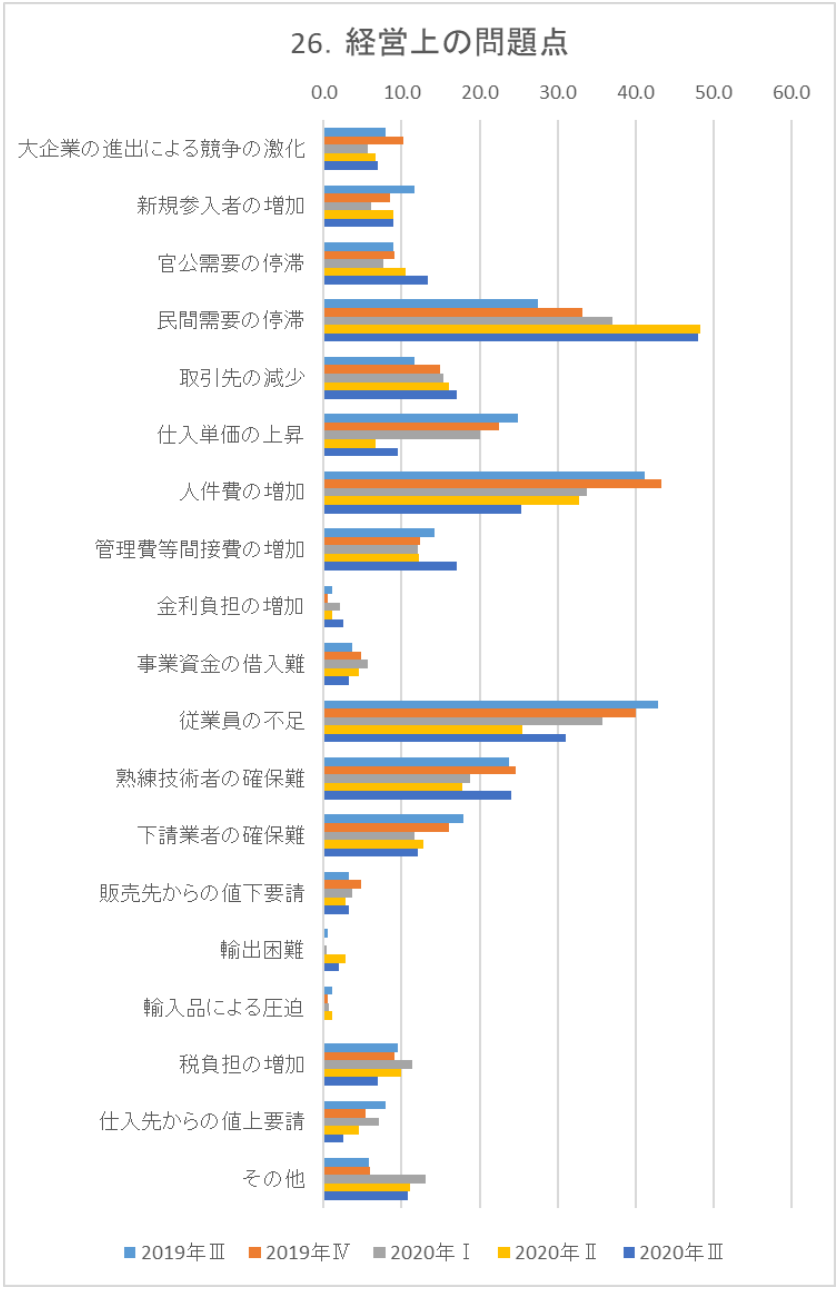

21. 販売価格DIの推移
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス


22. 取引条件DIの推移
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
次期見通し
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス


23. 従業員の過不足DI
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス


24. 資金繰りの状況DI
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
全体
建設業
製造業
流通・商業
サービス


25. 設備の過不足（製造業・流通商業）
0.0
-10.0
-20.0
-30.0
-40.0
-50.0
-60.0
2018 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2019 Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
2020 Ⅰ
Ⅱ
全体
製造業
流通・商業

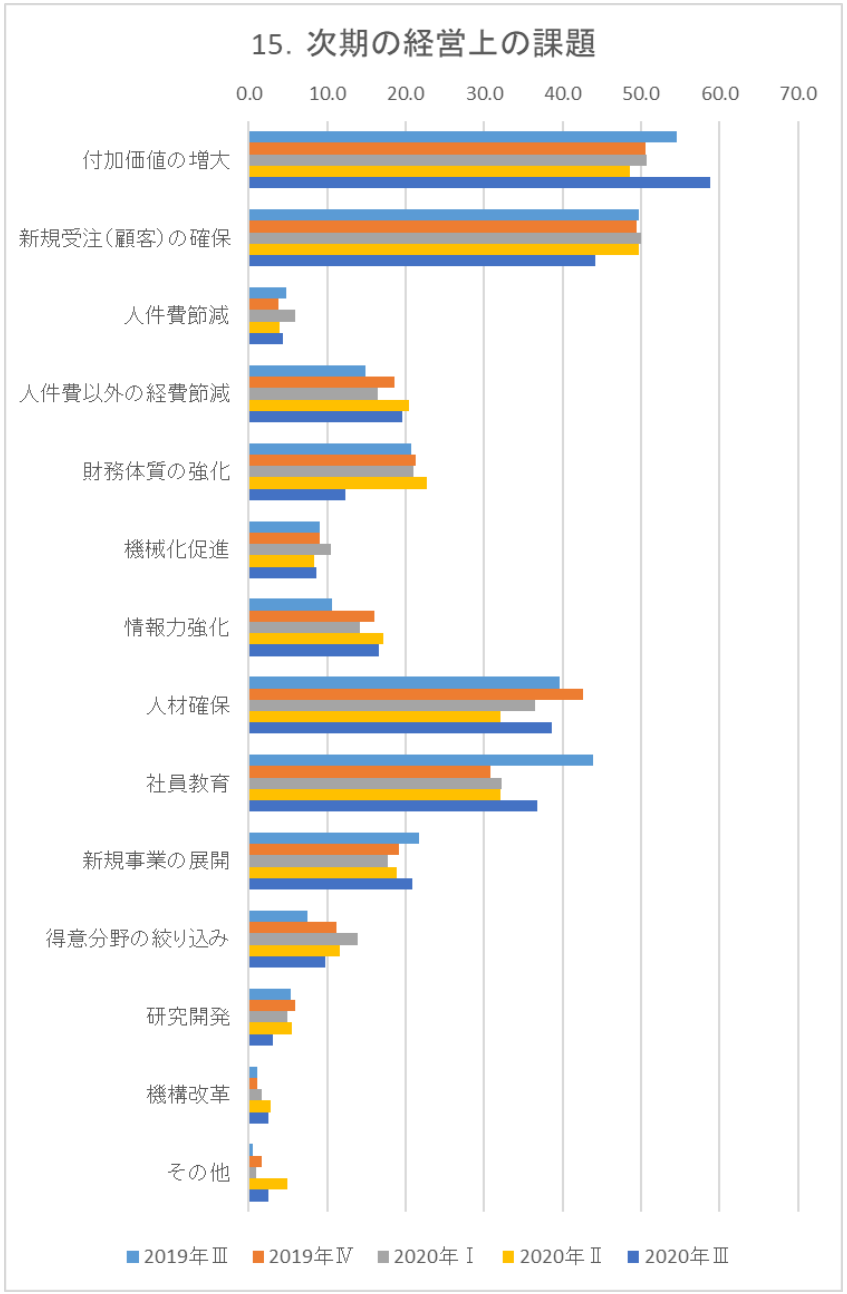


	合計	大企業の進出による競争の激化	新規参入者の増加	官公需要の停滞	民間需要の停滞	取引先の減少	仕入単価の上昇	人件費の増加	管理費等間接費の増加	金利負担の増加
全体	158	11	14	21	76	27	15	40	27	4
	100.0	7.0	8.9	13.3	48.1	17.1	9.5	25.3	17.1	2.5
5人未満	25	0	4	2	**11**	3	5	3	2	0
	100.0	0.0	16.0	8.0	**44.0**	12.0	20.0	12.0	8.0	0.0
5～9人	18	2	2	2	10	5	2	1	1	1
	100.0	11.1	11.1	11.1	55.6	27.8	11.1	5.6	5.6	5.6
10～20人未満	33	5	3	4	17	6	2	9	5	2
	100.0	15.2	9.1	12.1	51.5	18.2	6.1	27.3	15.2	6.1
20～50人未満	39	3	2	8	24	9	3	8	6	0
	100.0	7.7	5.1	20.5	61.5	23.1	7.7	20.5	15.4	0.0
50人以上	43	1	3	5	14	4	3	19	13	1
	100.0	2.3	7.0	11.6	32.6	9.3	7.0	44.2	30.2	2.3

	事業資金の借入難	従業員の不足	熟練技術者の確保難	下請業者の確保難	販売先からの値下要請	輸出困難	輸入品による圧迫	税負担の増加	仕入先からの値上要請	その他
	5	49	38	19	5	3	0	11	4	17
	3.2	31.0	24.1	12.0	3.2	1.9	0.0	7.0	2.5	10.8
	1	**8**	5	5	2	0	0	4	2	3
	4.0	**32.0**	20.0	20.0	8.0	0.0	0.0	16.0	8.0	12.0
	0	7	3	1	0	0	0	1	0	4
	0.0	38.9	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	22.2
	2	8	12	5	1	1	0	3	1	1
	6.1	24.2	36.4	15.2	3.0	3.0	0.0	9.1	3.0	3.0
	1	9	7	4	0	1	0	1	0	4
	2.6	23.1	17.9	10.3	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	10.3
	1	17	11	4	2	1	0	2	1	5
	2.3	39.5	25.6	9.3	4.7	2.3	0.0	4.7	2.3	11.6

	合計	大企業の進出による競争の激化	新規参入者の増加	官公需要の停滞	民間需要の停滞	取引先の減少	仕入単価の上昇	人件費の増加	管理費等間接費の増加	金利負担の増加
全体	158	11	14	21	76	27	15	40	27	4
	100.0	7.0	8.9	13.3	48.1	17.1	9.5	25.3	17.1	2.5
建設業	33	5	0	7	16	4	4	5	2	0
	100.0	15.2	0.0	21.2	48.5	12.1	12.1	15.2	6.1	0.0
製造業	28	1	1	4	12	2	4	10	5	1
	100.0	3.6	3.6	14.3	42.9	7.1	14.3	35.7	17.9	3.6
流通・商業	34	3	5	3	22	11	5	8	10	1
	100.0	8.8	14.7	8.8	64.7	32.4	14.7	23.5	29.4	2.9
サービス	62	2	8	7	26	10	2	17	9	2
	100.0	3.2	12.9	11.3	41.9	16.1	3.2	27.4	14.5	3.2

	事業資金の借入難	従業員の不足	熟練技術者の確保難	下請業者の確保難	販売先からの値下要請	輸出困難	輸入品による圧迫	税負担の増加	仕入先からの値上要請	その他
	5	49	38	19	5	3	0	11	4	17
	3.2	31.0	24.1	12.0	3.2	1.9	0.0	7.0	2.5	10.8
	2	16	16	9	0	0	0	2	1	0
	6.1	48.5	48.5	27.3	0.0	0.0	0.0	6.1	3.0	0.0
	0	5	4	1	1	2	0	1	2	4
	0.0	17.9	14.3	3.6	3.6	7.1	0.0	3.6	7.1	14.3
	2	4	2	2	2	1	0	2	1	2
	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	2.9	0.0	5.9	2.9	5.9
	1	24	16	7	2	0	0	5	0	11
	1.6	38.7	25.8	11.3	3.2	0.0	0.0	8.1	0.0	17.7



	合計	付加価値の増大	新規受注(顧客)の確保	人件費節減	人件費以外の経費節減	財務体質の強化	機械化促進	情報力強化
全体	163	96	72	7	32	20	14	27
	100.0	58.9	44.2	4.3	19.6	12.3	8.6	16.6
5人未満	29	18	14	0	4	2	2	8
	100.0	62.1	48.3	0.0	13.8	6.9	6.9	27.6
5～9人	18	12	5	0	2	3	0	2
	100.0	66.7	27.8	0.0	11.1	16.7	0.0	11.1
10～20人未満	33	20	18	2	6	6	4	4
	100.0	60.6	54.5	6.1	18.2	18.2	12.1	12.1
20～50人未満	40	26	19	2	10	4	0	7
	100.0	65.0	47.5	5.0	25.0	10.0	0.0	17.5
50人以上	43	20	16	3	10	5	8	6
	100.0	46.5	37.2	7.0	23.3	11.6	18.6	14.0

人材確保	社員教育	新規事業の展開	得意分野の絞り込み	研究開発	機構改革	その他
63	60	34	16	5	4	4
38.7	36.8	20.9	9.8	3.1	2.5	2.5
5	0	11	5	2	0	0
17.2	0.0	37.9	17.2	6.9	0.0	0.0
9	6	8	3	1	1	1
50.0	33.3	44.4	16.7	5.6	5.6	5.6
12	14	5	2	2	1	0
36.4	42.4	15.2	6.1	6.1	3.0	0.0
15	16	7	3	0	0	2
37.5	40.0	17.5	7.5	0.0	0.0	5.0
22	24	3	3	0	2	1
51.2	55.8	7.0	7.0	0.0	4.7	2.3

	合計	付加価値の増大	新規受注(顧客)の確保	人件費節減	人件費以外の経費節減	財務体質の強化	機械化促進	情報力強化
全体	163	96	72	7	32	20	14	27
	100.0	58.9	44.2	4.3	19.6	12.3	8.6	16.6
建設業	33	20	12	1	6	3	4	7
	100.0	60.6	36.4	3.0	18.2	9.1	12.1	21.2
製造業	28	19	14	2	5	3	7	6
	100.0	67.9	50.0	7.1	17.9	10.7	25.0	21.4
流通・商業	35	23	16	2	12	7	1	5
	100.0	65.7	45.7	5.7	34.3	20.0	2.9	14.3
サービス	65	32	30	2	9	7	2	9
	100.0	49.2	46.2	3.1	13.8	10.8	3.1	13.8

人材確保	社員教育	新規事業の展開	得意分野の絞り込み	研究開発	機構改革	その他
63	60	34	16	5	4	4
38.7	36.8	20.9	9.8	3.1	2.5	2.5
17	14	5	5	0	2	0
51.5	42.4	15.2	15.2	0.0	6.1	0.0
8	7	4	0	2	0	1
28.6	25.0	14.3	0.0	7.1	0.0	3.6
8	13	5	2	0	0	0
22.9	37.1	14.3	5.7	0.0	0.0	0.0
29	25	20	8	3	2	3
44.6	38.5	30.8	12.3	4.6	3.1	4.6

【特別調査：新型コロナウイルスへの対応】

	合計	政府系金融機関に融資申込申し込み相談窓口への電話・訪問	民間金融機関への融資申込	セーフティネット保証の利用	返済の繰延・延期	雇用調整助成金の申請・準備	持続化給付金の申請	家賃支援金の申請	社会保険納付の猶予申請	納税の猶予	各種助成金の申請	特になし	その他
全体	161	46	51	33	8	42	59	26	5	10	32	53	2
	100.0	28.6	31.7	20.5	5.0	26.1	36.6	16.1	3.1	6.2	19.9	32.9	1.2
建設業	33	8	9	10	1	4	16	4	2	2	7	9	0
	100.0	24.2	27.3	30.3	3.0	12.1	48.5	12.1	6.1	6.1	21.2	27.3	0.0
製造業	28	8	13	6	1	10	9	3	0	1	4	10	0
	100.0	28.6	46.4	21.4	3.6	35.7	32.1	10.7	0.0	3.6	14.3	35.7	0.0
流通・商業	35	12	13	8	3	14	13	6	1	4	8	13	0
	100.0	34.3	37.1	22.9	8.6	40.0	37.1	17.1	2.9	11.4	22.9	37.1	0.0
サービス	63	17	16	9	3	14	20	13	2	3	13	20	2
	100.0	27.0	25.4	14.3	4.8	22.2	31.7	20.6	3.2	4.8	20.6	31.7	3.2
5人未満	29	8	5	3	1	3	16	6	0	1	5	9	1
	100.0	27.6	17.2	10.3	3.4	10.3	55.2	20.7	0.0	3.4	17.2	31.0	3.4
5～9人	18	8	5	6	3	6	12	5	1	3	3	3	1
	100.0	44.4	27.8	33.3	16.7	33.3	66.7	27.8	5.6	16.7	16.7	16.7	5.6
10～20人未満	33	9	13	8	1	6	11	3	1	1	4	13	0
	100.0	27.3	39.4	24.2	3.0	18.2	33.3	9.1	3.0	3.0	12.1	39.4	0.0
20～50人未満	40	10	15	10	2	13	11	7	3	5	9	16	0
	100.0	25.0	37.5	25.0	5.0	32.5	27.5	17.5	7.5	12.5	22.5	40.0	0.0
50人以上	41	11	13	6	1	14	9	5	0	0	11	12	0
	100.0	26.8	31.7	14.6	2.4	34.1	22.0	12.2	0.0	0.0	26.8	29.3	0.0